

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社笠懸 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大橋利一 | | |
| 190343 | 所在地 | みどり市 笠懸町阿左美2036 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽維持管理、清掃、し尿汲取 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 20 人 | |

1 環境基本方針

《基本理念》

当社は、社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重要課題の一つに位置付け、事業活動の全領域で資源とエネルギーの節約と節減に努めることにより、住み良い環境の実現とその環境の次世代、次々世代への継承に貢献します。

《行動指針》

1.省資源・省エネルギー活動の推進

事務所内外の整理・整頓・清潔・清掃に留意し、事業活動に於ける電力・紙・水等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の節減等、環境負荷の低減に努めます。

2.エコドライブ等の省エネ活動によるCO2削減の推進

アイドリングストップをはじめとする、エコドライブによる環境負荷への低減を推進します。

3.廃棄物の削減・分別処理・グリーン購入の推進

事務所内外から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理及びグリーン購入を推進します。

4.継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。

5.当社の水処理に関する全段階における環境への影響を評価する技術を蓄積し顧客に提供する事により社会貢献を図ります。

6.当社は組織に適用される環境関連の法規を遵守します。

7.環境保全に対する意識を高め、この環境方針を全構成員に周知徹底するとともに社外の人にも公開します。

2 取組実績

- | |
|----------------------------|
| ① アイドリングストップ及び法定速度運転の推進 |
| ② 昼休み及び不在時の照明消灯 |
| ③ コピー機、パソコン等OA機器は極力待機電力とする |
| ④ 室内空調は夏期27度、冬期23度とする |
| ⑤ エコドライブの推進 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社大磯精工 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 磯貝一夫 | | |
| 190345 | 所在地 | 安中市 郷原395 | | |
| | 事業内容 | 精密機械部品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 40,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 23 人 | |

1 環境基本方針

お客様に受け入れられるために、環境を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、環境問題に対応する企業を目指しています。その為に、機械加工分野において環境マネジメント体制を整備し、適切に継続できる目標を設定し継続的に取り組みを進めます。

2 取組実績

① こまめに冷暖房の設定を行い適度な温度を保つ

② 昼休み電気を消灯する

③ 両面コピーの実施

④ 社内でリサイクルできる工具はリサイクルし再使用する。再研磨など

⑤ 切子を圧縮し含まれている廃油を減らし加工油をリサイクル

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社中島自動車電装 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 中島朗 | |
| 190349 | 所在地 | 伊勢崎市 連取町3290-5 | |
| | 事業内容 | 環境機器の開発・製造、自動車の钣金・塗装・車検整備 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 |
| | | 従業員数 | 26 人 |

1 環境基本方針

《基本理念》

(株)中島自動車電装は、現在世界各地で起こっている地球温暖化による異常気象の被害等を目の当たりにし、脱温暖化社会の実現や、健康で暮らせる自然の豊かな美しい地球を守ることが、重要課題のひとつと認識し、地球環境保全に配慮した事業活動に努めます。

《基本方針》

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1.当社の主力事業である、フロン回収機、ライター・スプレー缶処理装置の設計・製作・販売・設置及び自動車钣金塗装の各工程において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。

①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減に努めます。

②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。

③水は、使用量削減のため節水に努めます。

④化学物質使用量の削減、及び取り扱い、管理を徹底し環境保全に努めます。

⑤グリーン購入に努めます。

⑥環境機器の販売実績を伸ばし環境保全に貢献します。

2.環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

3.事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。

4.環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。

5.環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

～ この環境方針は、社内外に公表します ～

2 取組実績

| |
|----------------|
| ① エアコンの省エネ運転 |
| ② 昼休みの消灯 |
| ③ エコドライブの実施 |
| ④ コピー用紙裏紙使用の徹底 |
| ⑤ 雨水タンクの雨水を使用 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 合資会社オリエンタル | | |
| | 代表者氏名 | 代表社員 能澤孝博 | | |
| 190350 | 所 在 地 | 桐生市 相生町3-800-21 | | |
| | 事 業 内 容 | 事務機器製造業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 57 人 | |

1 環境基本方針

合資会社オリエンタルは、事務機器の中でも主としてシュレッダーを製造していることを踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行い、継続的な改善と環境汚染の防止に努める。

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を的確に把握し、同時にこれらが係わる法律・条例・協定その他の要求事項を明確にし、環境法規制及び協定その他の要求事項を遵守する。
2. 技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的・目標・管理計画を定め、全員で取組み、パフォーマンス及び環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上に努める。
3. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理の重点テーマとして取り組む。
 - (1) 資源の枯渇の観点よりエネルギーの削減を促進する。
 - (2) 自然環境への負担の軽減を図る為、廃棄物の分別を徹底し、その削減とリサイクルを図る。
 - (3) 当社の扱う金属材料の廃棄部材の削減とリサイクル。
 - (4) 製品の設計段階において、環境に与える負荷の低減を常に考慮した設計開発を行う。
4. 定期的に内部環境監査及びマネジメントレビューを実施し、環境マネジメントシステムの見直しと維持・向上に努める。
5. 組織で働く又は組織のために働く全ての人が環境保全意識を高く保ち、この環境方針の達成のため、全部門従業員に周知し、実施・維持する。

2 取組実績

| |
|------------------------|
| ① 新規製品の開発設計 |
| ② 時間外労働減少の推進 |
| ③ 不在箇所、休憩時間の消灯の徹底 |
| ④ 社外活動の効率化によるガソリン使用量削減 |
| ⑤ 節電意識のさらなる向上 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|-------------------|------------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社天坊 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 伊東寛 | |
| 190351 | 所在地 | 渋川市 伊香保町伊香保396-20 | |
| | 事業内容 | 旅館業(919号) | |
| | 事業規模 | 資本金 | 100,000 千円 |
| | | 従業員数 | 140 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- 1.社内体制の整備
- 2.環境教育の充実

2 取組実績

- ① 従業員にお客様の利用に合わせた空調機、照明のOn,Offを徹底させた。
- ② あらかじめデマンド発報時の行動基準(空調機Offの順番)を作成し発報時実践した
- ③ 前年に引き続き宴会場、ロビー、宴会場のLED化を進めた。
- ④ 館内誘導灯100%LED化した。
- ⑤ レストランの一部に網戸を設置し空調機の利用頻度を抑えた。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社ユニティーネットワーク | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 掛川信弘 | | |
| 190353 | 所在地 | 高崎市 東町126-12 | | |
| | 事業内容 | ソフトウェア開発・販売 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 7 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動の推進が、如いては事業活動の効率化に繋がることを自覚し行動する。
2. すべての社員が環境問題に対するモラルを高められるよう、環境問題への取組内容を周知、徹底する。

2 取組実績

- ① 交通手段については公共交通機関を積極的に使用する。
- ② 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)に努める。
- ③ 昼休み、休憩時間の消灯、非常時の消灯を徹底する。
- ④ 離席時はOA機器のスイッチを切る。
- ⑤ 電子情報利用によるペーパーレス化を推進する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|----------|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社海原商事 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 海原洋一 | |
| 190354 | 所在地 | 館林市 新宿2-4-10 | |
| | 事業内容 | 製鉄・製紙・非鉄金属原料リサイクル及び廃棄物運搬業 (1000002566) | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 |
| | | 従業員数 | 7 人 |

1 環境基本方針

《基本理念》

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

《基本方針》

有限会社 海原商事は、本業である製紙・製鉄・非鉄金属原料リサイクル及び一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬業務活動を通じ、運搬に伴う二酸化炭素の排出抑制や廃棄物の発生抑制に努め、微力ながら、持続可能な循環型社会の形成に向けて努力いたします。

1. 自社の事業活動による環境に与える影響を低減するとともに、環境改善を図るため、以下の項目を取り組みます。

- ① 運搬に伴う二酸化炭素の排出量削減に努めます。
- ② 廃棄物の排出を抑制するとともにリサイクルの向上に努めます。
- ③ 限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
- ④ エネルギー使用量削減にも努めます。

2. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。

3. 環境方針は、全社員に周知するとともに社員の環境に関する意識の向上を図ります。

～ この環境方針は、社内外に公表します ～

2 取組実績

| |
|---------------------------|
| ① 空調温度適正化・表示 |
| ② 照明・PC電源不要のOFF推進 |
| ③ エコドライブ推進(アイドリングストップの実施) |
| ④ 分別ルールの徹底 |
| ⑤ 裏紙使用ルールの徹底 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社関東高圧容器製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 矢端和之 | | |
| 190355 | 所在地 | 前橋市 鳥取町153-1 | | |
| | 事業内容 | 高圧ガス容器の製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 100,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 120 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

- ① ガスバーナーの効率が上がり、ガスの消費量削減
- ② 燃焼炉を使う製品の輸入品への切り替えによりガス使用量削減
- ③ コンプレッサーの使用区分を分け、個別に使用量により使い分け、電気代削減
- ④ 照明のLED化により電気使用量の削減
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|----------------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社高崎共同計算センター マイクロシステム事業部 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 井上彩 | |
| 190356 | 所在地 | 高崎市 下之城町936-20 | |
| | 事業内容 | コンピュータのハードウェア及びソフトウェア製品の設計・開発・製造 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 50,000 千円 |
| | | 従業員数 | 150 人 |

1 環境基本方針

環境問題への取り組みを社会的責務と認識し、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。
そのために
①環境管理システムの継続的な維持向上に努めます。
②環境方針を全従業員へ周知するとともに、環境管理教育及び啓発に努めます。

2 取組実績

- ① 使用率の少ない場所は閉鎖し、空調・照明は使用しない。
- ② 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)の徹底。
- ③ 蛍光灯の間引き、省エネタイプへの変換。昼休みの消灯の徹底。
- ④ 待機電力の削減、パソコンの省エネモード設定の徹底。
- ⑤ 定時退社日の徹底。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社新井整毛所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 新井栄一 | | |
| 190358 | 所在地 | 館林市 大街道2-3-33 | | |
| | 事業内容 | 産業廃棄物収集運搬(1000050818) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 9 人 | |

1 環境基本方針

《基本理念》

「繊維の町」として栄えた足利市の産業を礎に、株式会社新井整毛所は、半世紀にわたる繊維のリサイクルを通して、環境にやさしい商品の技術的向上に邁進し、当社の産業廃棄物の収集運搬等を含めたすべての事業活動において、“かけがえのない地球を守る”ために、環境に対する負荷の軽減に企業を挙げて取り組み、循環型社会の構築に向けて努力いたします。

《基本方針》

株式会社新井整毛所は、環境にやさしい社会と自然の共生・調和の実現を目指し、環境負荷への削減を図る為に、環境マネジメントシステムを推進し、以下の通り全従業員を挙げて取り組みます。

1. 環境関連法規・条例及びその他の要求事項を遵守し、環境社会の向上に努めます。

2. 環境への影響を的確にとらえ、環境改善活動に自主的・積極的に取り組み、継続的な環境負荷の低減を図ります。

3. 当社の事業活動に伴う環境影響を考慮し、以下の項目を重点テーマとして取り組みます。

①発生する廃棄物の削減及びリサイクルの推進 ②エネルギー使用量の削減による地球温暖化への抑制 ③水使用量の現状維持 ④会社内外の環境美化

4. 地域社会との連携を図り、地域環境活動に参加します。

5. 環境方針の達成の為に目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に取り組みます。

6. 環境方針を全従業員に周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、社外にも公表します。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| ① 照明・PC電源不要時のOFFの推進 |
| ② エコドライブ推進 |
| ③ 分別ルールの徹底(3R推進) |
| ④ 裏紙使用ルールの徹底 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社泰通 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 境野泰照 | | |
| 190362 | 所在地 | 伊勢崎市 八斗島町1394-1 | | |
| | 事業内容 | 一般区域貨物自動車運送事業(関自貨2第1835号)、倉庫業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 29 人 | |

1 環境基本方針

・車両の排気ガスを抑制し、CO2、NOXなど地球に負荷を与える物質の排出削減に努めます。

・エコドライブを積極的に推進します。

・業務の効率化・無駄な排除を行い、用水・紙類の使用等、省資源・省エネルギーに努めます。

・環境方針を社内の安全会議等通じて全社員に周知し、ゴミの減量化・リサイクルへの関心と理解を深める。

・目標の達成状況、評価、発表とアイデアの出し合いを随時することにより、継続的な向上を図ります。

・環境監査等の監視、チェック機能を十分に働かせて活動を確認し、環境保全活動が適切に実施されているかを把握する。

・プロドライバーの誇りを持ち、ロードリーダーとして一般のドライバーの模範となり、自然環境と調和した車社会の実現を目指します。

2 取組実績

① エコドライブ(特に車間距離を多く保つ運転)

② 燃費向上塾等の勉強会

③ 残業を無くし、電力使用量の削減

④ 空調温度の適正化

⑤ 事務所内の全てをLED照明へ転換

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 前橋定期運送株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 茂木幸男 | | |
| 190363 | 所在地 | 前橋市 力丸町463 | | |
| | 事業内容 | 一般区域貨物自動車運送事業(56東陸自貨-第1821号) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 50,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 80 人 | |

1 環境基本方針

(環境方針)

法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。

〈重点目標〉

- ①環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進をする。
- ②燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
- ③法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
- ④各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし、周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

- ① 車両のアイドリングストップの実施
- ② 急発進・急加速の禁止・指導
- ③ 定速運転の実施
- ④ エアコンの適正使用の実施
- ⑤ 車両の管理(タイヤの適正空気圧の管理)

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社シミズプレス | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 清水紀幸 | | |
| 190364 | 所 在 地 | 高崎市 倉賀野町2987 | | |
| | 事 業 内 容 | 金属プレス加工 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を意識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が環境に配慮した行動をとる。

- 1.品質管理や流通管理の徹底により廃棄される製品や使用材料の無駄の削減に努める。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。
- 3.省エネルギー機器の導入

2 取組実績

- ① 照明器具のLED化(蛍光灯・水銀灯)
- ② 空調設備の温度の適正管理
- ③ エコドライブの推進
- ④ 両面コピーの徹底
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 石坂電器株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 石坂一男 | | |
| 190365 | 所在地 | 伊勢崎市 波志江町1777 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 15,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 90 人 | |

1 環境基本方針

当社グループは自動車用電装部品及び環境対応製品の製造を中心とした事業活動において、環境側面の適切な管理に基づき、環境汚染の防止に努めると共に、環境負荷の継続的改善を図ります。以下の各事項を重点テーマとして改善目標を設定し、効果的に取り組めます。

- ①CO2排出量・廃棄物排出量・総排水量の抑制の為、具体的目標値を決め改善に取り組めます。
- ②環境負荷物質の使用禁止・削減策として、顧客先のグリーンサプライ化対応を図ると共にリスク発生の予防に努めます。
- ③企業活動における購買において、環境にやさしいグリーン調達に努めます。
- ④環境関連の法律、規制およびその他の要求事項を遵守すると共に、一層の環境保全の維持向上に取り組めます。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| ① 電気料金、水道料金の報告・推移グラフの掲示 |
| ② デマンド監視装置の運用継続・ピーク解析 |
| ③ 空調終了時間・温度設定の管理継続 |
| ④ 夏場の遮光処置措置(屋根に遮熱断熱塗料塗布) |
| ⑤ 工場別環境委員会の立ち上げ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 石坂コイル株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 石坂一男 | | |
| 190366 | 所在地 | 伊勢崎市 長沼町214 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 55 人 | |

1 環境基本方針

当社グループは自動車用電装部品及び環境対応製品の製造を中心とした事業活動において、環境側面の適切な管理に基づき、環境汚染の防止に努めると共に、環境負荷の継続的改善を図ります。以下の各事項を重点テーマとして改善目標を設定し、効果的に取り組めます。

①CO2排出量・廃棄物排出量・総排水量の抑制の為、具体的目標値を決め改善に取り組めます。

②環境負荷物質の使用禁止・削減策として、顧客先のグリーンサプライ化対応を図ると共にリスク発生の予防に努めます。

③企業活動における購買において、環境にやさしいグリーン調達に努めます。

④環境関連の法律、規制およびその他の要求事項を遵守すると共に、一層の環境保全の維持向上に取り組めます。

2 取組実績

| |
|--------------------------|
| ① 電気料金、水道料金の報告・推移グラフの掲示 |
| ② デマンド監視装置の運用継続・ピーク解析 |
| ③ 空調終了時間・温度設定の管理継続 |
| ④ 夏場の遮光処置措置(屋根に遮熱断熱塗料塗布) |
| ⑤ 工場別環境委員会の立ち上げ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|-------------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社藤栄工業 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 角田博 | |
| 190367 | 所在地 | 藤岡市 森新田287 | |
| | 事業内容 | 情報関連機器、事務機器等に提供する機械部品のプレス板金加工 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 11,000 千円 |
| | | 従業員数 | 8 人 |

1 環境基本方針

株式会社藤栄工業は関連会社に提供する部品の生産事業を進めるにあたり、地球環境保全の推進が最も重要であることを認識して、行動を実践します。

- 1.社員一同が環境問題に理解を深め行動できるよう教育の充実に努めます。
- 2.地球にやさしい材料の使用を積極的に進めます。

2 取組実績

① 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)

② 両面コピーの徹底。

③ LED電球の切り替え

④ 昼休み、休憩時間の消灯

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|--------------------------|---------------|
| 認定番号 | 名 称 | 日立オートモティブシステムズ株式会社 群馬事業所 | |
| | 代表者氏名 | 事業所長 日高照文 | |
| 190368 | 所 在 地 | 伊勢崎市 粕川町1671-1 | |
| | 事 業 内 容 | 輸送用機器製造 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 15,000,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 880 人 |

1 環境基本方針

| |
|---|
| <p>(スローガン)</p> <p>当事業グループは、自動車用電子機器、エンジン機器及び電装機器の研究・開発・設計並びに製造を行っている。</p> <p>我々の事業活動・生産活動を始め、我々の生み出す製品およびサービスは、地球環境など環境問題と深いかかわりがあることを認識し、「美しい地球をいつまでもみんなの英知と行動で」のスローガンのもとに一丸となって、より良い環境マネジメントシステムの構築に取り組む。</p> <p>(環境方針)</p> <p>①ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築すると共に推進組織を整備し、当事業グループの活動、製品及びサービスにより環境影響を生じさせるものに対して汚染を予防すると共に、環境マネジメントシステム及び環境マネジメントシステム上の活動実績を継続的に向上させる。</p> <p>②環境側面に対して該当する環境法令を順守すると共に顧客の要求事項などの受け入れを決めた要求事項を順守し、必要に応じて自主基準を策定して環境汚染防止に努める。</p> <p>③環境管理活動の具体的施策は、環境目的・目標として設定し、これらを推進する。この環境目的・目標は1回／年見直しを行う。</p> <p>④環境保全のため、以下の項目を重点課題として取り組む。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ)環境配慮型製品の開発・設計を推進する。</p> <p style="margin-left: 20px;">ロ)地球温暖化防止を図るため、省エネルギーを推進する。</p> <p style="margin-left: 40px;">・電力、燃料等生産設備で消費するエネルギーの使用効率向上を図る。</p> <p style="margin-left: 40px;">・ボイラー、コンプレッサーおよび加熱炉等の付帯設備および生産設備の省エネルギー化を推進する。</p> <p style="margin-left: 40px;">・輸送効率向上によるCO2排出量の削減を推進する。(モーダルシフト)</p> <p style="margin-left: 20px;">ハ)化学物質管理の徹底と排出量削減を推進する。</p> <p style="margin-left: 40px;">・生産工程における化学物質使用量の適正化、環境にやさしい物質への転換を推進する。</p> <p style="margin-left: 20px;">ニ)循環型社会に対応し、廃棄物の減量化、再利用および再資源化を推進する。</p> <p style="margin-left: 20px;">ホ)排水の水質や大気排出ガスの濃度の維持・管理等には万全を期し、生態系への影響に配慮する。</p> |
|---|

2 取組実績

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社日東電機製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 青木和延 | | |
| 190369 | 所 在 地 | 太田市 吉沢町1030 太田リサーチパーク内 | | |
| | 事 業 内 容 | 配電盤製造 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 80,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 145 人 | |

1 環境基本方針

スローガン『電気の力できれいな街』をそれがわたし達の仕事です。当社は環境マネジメントシステムを構築し、社員一人ひとりがその業務を通じて地球環境の維持・向上に積極的に関与し、環境調和型社会の実現を目指します。

- 1.ものづくり改善活動により品質向上を図り、省エネルギーと資源削減リサイクルに取り組みます。
- 2.環境対応型商品の開発とグリーン商品の購入に努めます。
- 3.環境目的、目標を設定し環境マネジメントシステムをレビューし継続的な改善を行い、社員一人ひとりが環境に対する意識を向上させ、汚染予防に努めます。
- 4.環境に関する法律・協定等を遵守すると共に、関連する社会的要求を尊重します。
- 5.この環境方針は文書化し、会社員及び組織のために働くすべての人に周知すると共に公開します。

2 取組実績

| |
|--|
| ① 後戻り工数は2009年度比で56%に削減(44%削減) |
| ② 産業廃棄物は2008年度比で38%に削減(62%削減) |
| ③ 一般廃棄物(可燃ゴミ)は2008年度比で16%に削減(84%削減) |
| ④ 電池盤関連17件、スマートグリッド関連3件、太陽光関連1件、水力関連1件受注 |
| ⑤ コピー用紙購入量2008年度比で49%(51%)削減 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|-------------------------|------------|
| 認定番号 | 名 称 | みつわ運輸株式会社本社営業所 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 轟英治 | |
| 190370 | 所 在 地 | 高崎市 片岡町1-17-22 | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(陸輸第3005号) | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 11 人 |

1 環境基本方針

(環境方針)
 法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。
 <重点目標>
 ①環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進をする。
 ②燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
 ③法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
 ④各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし、周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------------|
| ① エコドライブの実施(特に高速:80km/h、一般:法定速度の徹底) |
| ② ミックスタイヤおよび再生タイヤの利用 |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|-------------------------|------------|
| 190371 | 名 称 | みつわ運輸株式会社吾妻営業所 | |
| | 所 在 地 | 東吾妻町 大字厚田1263-1 | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(陸輸第3005号) | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 100,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 49 人 |

1 環境基本方針

(環境方針)

法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。

〈重点目標〉

- ①環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進をする。
- ②燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
- ③法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
- ④各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし、周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

① エコドライブの実施(特に高速:80km/h、一般:法定速度の徹底)

② ミックスタイヤおよび再生タイヤの利用

③ エコドライブ講習への運転手参加

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社土屋合成 | | |
| | 代表者氏名 | 土屋直人 | | |
| 190372 | 所在地 | 富岡市 宇田22-2 | | |
| | 事業内容 | プラスチック射出成形加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 55 人 | |

1 環境基本方針

当社の企業活動と地球環境の調和を目指して、省資源、省エネルギーに継続的に取り組み、環境の保全に努めます。

2 取組実績

① 省電力成形機への入替(1台排出し1台導入)

② 工場内スポットクーラーを気化熱式クーラー(2/3電力削減タイプ)に交換

③ 作業場のレイアウト変更を行い、エアコン等の不必要な稼働をなくしました

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社JSテック | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 池谷吉司 | | |
| 190373 | 所在地 | 伊勢崎市 市場町2-1008 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品製造業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 100,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 151 人 | |

1 環境基本方針

- 1.自動車関連部品等の製造及び付帯業務によって生じる環境への影響を調査すると共に評価し、環境負荷を軽減する施策を行い、環境への影響の継続的改善と汚染の予防に対して、適切な措置を講ずる。
- 2.環境の継続的保全に取り組む体制を整備し、環境関連規定の制定、環境負荷削減目的・目標を設定し環境改善活動の推進を図ると共に、環境監査を実施し活動の確認と維持向上に努める。
- 3.環境の保全に関する社会的要請を的確に把握し、省エネ、省資源、廃棄物削減等の資源の有効活用に取り組む。
- 4.国、地方自治体等の定める環境に関する法規制、条例等を遵守する。
- 5.社員一人々が環境保全に対する意識の向上を図ると共に、地域社会の環境改善活動に積極的に貢献する。

2 取組実績

- ① 稼働設備のサイクルタイム短縮による待機電力削減
- ② 駐車場集約による水銀灯使用電力削減
- ③ 廃油の定期廃棄による有価買い取り化拡大実施
- ④ フォークリフトの移動距離削減による電気使用量の削減
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 群馬県第一食糧株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 竹越正博 | | |
| 190374 | 所在地 | 前橋市 高井町1-10-3 | | |
| | 事業内容 | 米穀流通卸売業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 364,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 23 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスが持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2.全社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 今年度も1台エンジンフォークリフトからバッテリーフォークリフト入れ替え
- ② 省エネ車両の入替え(営業用アイドリングストップ車)
- ③ 工場設備の一部入れ替え(省エネタイプ)
- ④ クールビズの早期開始と期間延長
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社協和工業 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 福島寛 | | |
| 190375 | 所在地 | 伊勢崎市 日乃出町473-1 | | |
| | 事業内容 | 空調機器:冷凍機器関連のプレス、板金、溶接加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 30 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮し法規制、顧客要求遵守の行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が、持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め法規制、顧客要求遵守行動ができるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 使用済用紙の裏紙利用の徹底や分別廃棄、プラスチック資源の再生化の徹底や使用済軍手の分別・再利用化による産廃処理費用の削減。
- ② 不使用生産設備の電源OFFの徹底による電気使用量の削減。
- ③ エアコン、石油ストーブの使用温度適正化、及び使用時間限定による電気、灯油使用量削減。
- ④ 納入先からの廃棄品の持込削減や材料用パレットの納入業者への返却による産廃費用の削減。
- ⑤ 物流トラックの適正利用とスポット便やライトバンの有効活用によるガソリン使用量の削減

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社ニッポ渋川 | | |
| | 代表者氏名 | 高波玉吉 | | |
| 190379 | 所在地 | 渋川市 吹屋591-1 | | |
| | 事業内容 | 高所作業車等の制御装置の生産 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 16 人 | |

1 環境基本方針

豊かな地球環境を次世代へ継承する事が、人類共通の重要課題であることを認識し、事業活動のあらゆる面で地球環境の保全を配慮した活動を行う。

①事業活動によって環境に与える影響を正しく認識し環境目的、環境目標を定め継続的な改善と汚染の防止に取り組みます。

②全従業員に対し環境方針の周知徹底に努め、環境教育を定期的を実施し個々の環境意識向上を図ります。

2 取組実績

- | |
|--------------------------|
| ① 夏のクールビズ強化による室内温度の調節 |
| ② 工場内の冷房を攪拌装置の拡充3台を5台に増設 |
| ③ 使用頻度の少ない倉庫の光熱費を削減 |
| ④ 照明装置の数量を削減 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|-----------------------|-----------|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社プランニング | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 町田英之 | |
| 190381 | 所 在 地 | 前橋市 櫛島町161-5 | |
| | 事 業 内 容 | コンピューターソフトウェアの開発及び、販売 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 37 人 |

1 環境基本方針

環境活動を経営活動の一環として捉え、社内における環境保全意識の向上を図るとともに、環境保全を目的とする統一された高い意識を持った集団を目指し、グループ全体としてその活動に取り組む。

■具体的な行動規範

1.環境保全目標を計画に設定し、その達成につくすこと。

全社または各部門において、環境保全に関する行動目標を設定し、達成のための具体的な方策を検討した上で、その実行に努める。

2.事業において、環境を意識した展開を常に心掛けること。

社員全員が業務において環境保全を意識し、省エネルギーや廃棄物の削減などを常に考慮する。

3.環境に配慮した商品、サービスを採用すること。

調達・販売・使用・リサイクル・廃棄の各段階で環境への負荷が少ない商品、サービスを積極的に採用する。

4.環境意識に対する責任を各自が持ち、環境保全活動に積極的に取り組むこと。

社員ひとりひとりが日常的に環境意識の向上に努め、自ら責任を持って環境保全活動を推進する。

2 取組実績

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|------------------|---------------|
| 認定番号 | 名称 | 沖電気工業株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 北関東担当総務部長 小幡哲郎 | |
| 190383 | 所在地 | 高崎市 双葉町3-1 | |
| | 事業内容 | 情報処理機器の開発、設計及び製造 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 72,411,000 千円 |
| | | 従業員数 | 1,568 人 |

1 環境基本方針

(環境理念)

OKIグループは、e社会の実現に寄与する商品の提供を通じて、次の世代のために、より良い地球環境を実現し、それを継承する。

(環境行動指針)

1. 全社ネットワーク型環境経営の実行により、施策効果の最大化を目指す。

(1) 商品の企画から製造・保守運用に至るまですべての業務プロセスにおいて、環境配慮型商品とサービスの提供に取り組む。

(2) 事業活動において、省資源・省エネルギーに努め、廃棄物の削減に取り組む。

2. 適用される環境法令、条例及び同意する顧客要求等その他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努める。

3. 環境マネジメントシステムのPDmCA(Plan-Do-multiple Check-Act)を的確に実行し、環境パフォーマンスの向上と運用システムの継続的な改善に取り組む。

4. 環境に関する情報の開示に努めるとともに、環境活動支援を通じて、広く社会に貢献する。

2 取組実績

① サブ変電所改修(特高変電所改修に合わせ変圧を66kV⇒3.3kVから66kV⇒6.6kVへ変更するためサブ変電所の変圧器を18台更新を行った。)

② 熱源機器更新(老朽化したガス吸入式冷温水発生器をモジュールチラー方式に変更、更新を行った。)

③ 省エネ型照明器具への更新

④ 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)

⑤ 昼休みの消灯、不要場所の消灯の徹底

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社サンユーサービス | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 岡田秀一 | |
| 190385 | 所在地 | 太田市 龍舞町4504-1 | |
| | 事業内容 | 設備管理業務、建築物メンテナンス業務業、リフォーム業務、産業廃棄物収集運搬業務(許可番号1000133607) | |
| | 事業規模 | 資本金 | 11,000 千円 |
| | | 従業員数 | 15 人 |

1 環境基本方針

<基本理念>

『to the next stage, with us 私達サンユーサービスは、人、社会、地球環境そして未来のそれぞれを考え、社員一人一人が豊かな感性をはぐくみ、クレームゼロ及び質の高いサービスの提供をしていきます。』を当社のスローガンとして掲げ、日ごろの事業活動の中で環境保全に配慮して行動し、自主的な取り組みを展開する。

<行動指針>

「地球環境は、地域社会の各々からを念頭に・・・」

当社は、全社員が環境改善に対する意識を深める事により「きめ細やかな心創り」を目標として下記の活動方針を定め、環境活動に一丸となって取り組んで参ります。

- 1.法規制に基づき遵守します。
- 2.全社員で整理整頓を推進します。
- 3.廃棄物の排出制御、適正処理、及びリサイクルの推進に努めます。
- 4.ガソリン・軽油等の天然資源 使用削減に努めます。
- 5.清掃等に使用する薬品の管理及び適正処理の徹底を図ります。
- 6.環境教育による全社員の環境に関する意識向上を図ると共に、協力会社に対しても環境活動の理解と協力を要請します。
- 7.建築工事、解体、開発事業に当って、常に環境への影響を的確にとらえ、事業活動に従事し、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- 8.お客様の環境負荷低減になるようなサービスを提供し続けます。

2 取組実績

- | |
|--|
| ① 社用車の燃費効率UPのため、ハイブリッド車への随時入替を行っている。 |
| ② エコドライブ10項目の取組強化、車両月次点検及び燃費調査の実施。 |
| ③ 新規事業活動として、顧客へのドライアイスブラストを使用した環境に優しい清掃法を提案している。 |
| ④ 顧客への省エネ効果としてLED照明の取付工事を提案している。 |
| ⑤ 工事現場ごとの活動報告書の作成、安全と環境活動の意識向上を目指す。 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|--------------------|-----------|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社旭光 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 宇治川幸子 | |
| 190387 | 所 在 地 | 板倉町 岩田808 | |
| | 事 業 内 容 | 金属加工(治具、各種機械部品の試作) | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 23,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 42 人 |

1 環境基本方針

<環境基本理念>

1). 経営理念

「世界に誇る精度の高い製品を追求し、常にお客さまに喜ばれる存在でありたい」

- (1)お客さまの注文に感謝する。
- (2)お客さまに絶対迷惑をかけない。
- (3)お客さまを大切にする。

2). 環境行動指針:「私たちは、より環境に配慮した会社生活・家庭生活をします。」に基づき、生産活動において、地域社会の良き市民であることを認識し環境経営を追求し、お客さま、取引先、地域社会との相互信頼を基に人と我々の住む地球が健全に存続できる環境の実現に貢献いたします。

<環境方針>

1. 当社は、治具、各種機械部品の機械加工、サブ・アッセンブリーなどの製品及びサービスを行っています。これらの事業活動における各段階において、当社の一人一人が環境保全活動(汚染の予防)と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
2. 環境保全に関する法律ならびに当社が同意した顧客、地域社会等の要求事項を遵守します。又、必要に応じて自主的な環境目的・目標を設定し汚染の予防に努めます。
3. 循環型社会に沿った事業活動として、下記の項目をテーマとして取り組みます。
 - (1). 省エネルギーの推進
 - (2). 廃棄物の適正な処置と削減
 - (3). 産業負荷化学物質の削減と工場外(地域河川)への流出防止管理
4. 環境方針は当社の全従業員にカードやポスター等で周知徹底を図ります。
5. この環境方針はお客さま、取引先、地域社会の方々へも公開いたします。

2 取組実績

| |
|--------------|
| ① 空調温度適正化、表示 |
| ② 不要時の電気のOFF |
| ③ エコドライブ教育 |
| ④ 分別ルールの徹底 |
| ⑤ 節水のPOP表示 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|--------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社コウショウ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高木照吉 | | |
| 190389 | 所 在 地 | 高崎市 倉賀野町2439 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般区域貨物自動車運送事業(関自貨2第608号) | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 30,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

法令規則を遵守して、環境にやさしい経営を目指します。

【重点目標】

- (1) 環境保護条例、自動車NOx・PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進する。
 - (2) 燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
 - (3) 法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
 - (4) 各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし周知徹底をし、その推進と維持に努める。
- 目標燃費1.0%/年の向上 2010年に2006年対比5.0%の向上を達成する

2 取組実績

- | |
|--------------------------|
| ① 燃費改善への意識向上を図る為、デジタコの導入 |
| ② 燃費成績表に基づく乗務員への個別指導 |
| ③ 旧型車輛の廃車、新型車種への交換 |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 正田醤油株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 正田隆 | | |
| 190392 | 所在地 | 館林市 栄町3-1 | | |
| | 事業内容 | 醤油の醸造と加工調味料類の製造販売 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 100,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 373 人 | |

1 環境基本方針

- 1.商品開発・生産・販売活動すべてにおいて、地球温暖化防止、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、再資源化に努めます。
- 2.環境法令など遵守するとともに、自主基準を設定し、一層の環境保全を図ります。
- 3.環境目的・目標を定め、PDCAサイクルをまわすことで、環境マネジメントシステムの継続的改善と環境負荷の低減に努めます。
- 4.環境活動への意識向上を図り、全員で環境改善に取り組みます。

2 取組実績

- ① 「正田Eco-style」
- ② 節電ルールの実施と温度管理責任者の設置
- ③ エコドライブの推進
- ④ 棚卸資産廃棄の削減
- ⑤ 再利用率の維持向上

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------------|-----------------------------------|---------------|
| 認定番号 | 名称 代表者氏名 | 日本シイエムケイ株式会社KIBANセンター 工場長 石原一樹 | |
| | 所在地 | 伊勢崎市 戸谷塚町48-1 | |
| 190393 | 事業内容 | プリント配線板製造 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 22,306,200 千円 |
| | | 従業員数 | 327 人 |

1 環境基本方針

日本シイエムケイ株式会社 KIBANセンターは、プリント配線板の製造工場として環境問題に積極的に取り組み、地域社会と密接な連携を保ちながら環境活動を推進する。

1. エネルギーの削減
2. 廃棄物の削減及びリサイクル化

2 取組実績

- ① パッケージエアコンのレイアウト変更による空調負荷低減
- ② 負荷変動に応じた蒸気ボイラー設備の省エネ停止
- ③ 生産ライン(加熱炉・乾燥炉)の省エネ停止
- ④ 製造工程の薬品変更による廃棄物の自社処理化
- ⑤ 容器包装プラスチック分別による有価物化(業者開拓・管理強化)

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社クラッシングセンター | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 池田清 | | |
| 190396 | 所在地 | 伊勢崎市 下触町435-1 | | |
| | 事業内容 | 再生アスコン用再生骨材及び路盤用再生砕石の製造・販売 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 13 人 | |

1 環境基本方針

《基本理念》

企業活動を通じて、有限会社クラッシングセンターとその社員、関連する企業と地球環境に配慮した事業活動に努めます。

《基本方針》

当社は、再生アスファルト用再生骨材、路盤用の再生砕石をメインとした再生土木材料の専門会社として、顧客の皆様に喜んでいただける商品を提供すると共に、環境に配慮した商品・サービスをお届け致します。

当社にふさわしい環境マネジメントシステムを構築し、全員参加により継続的改善に取り組み、環境汚染の予防と環境保全に努めます。

環境関連の法律・規制と当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

この方針に沿って環境目的及び目標を設定し、かつ見直しを行い、環境負荷の少ない企業活動を目指します。

次の課題を掲げ、全員一丸となって取り組みます。

(1)省資源・省エネルギー

(2)紙の使用量の削減

この環境方針は、当社の全従業員に周知徹底し、環境に関する意識の向上を図るとともに、外部に公開します。

2 取組実績

① 重機の無駄なアイドリングをなくす

② 全ての器具の不使用时電源オフ

③ 節水に努める

④ 備品類の購入の際は積極的にエコ商品を購入する

⑤ 受入物の中にゴミがはいらないようにする

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|-----------|
| 認定番号 | 名称 | サラフジ株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 佐藤純司 | |
| 190397 | 所在地 | 榛東村 広馬場3585-6 | |
| | 事業内容 | シャッター関連製品、搬送設備、クレーン、環境関連機器等の設計、製作及び付帯サービス | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,000 千円 |
| | | 従業員数 | 24 人 |

1 環境基本方針

(基本理念)

私たちの地球はかけがえのないものであり、健全な状態を次世代に引き継いでいくために、私たちは環境に対する配慮を怠ってはなりません。当社はシャッター関連製品・搬送設備・クレーン、環境関連機器やプラント等の設計・製作・施工などの事業活動を通じて社会に貢献するとともに、経営者も社員も一体となり、可能な限り環境保全に努めてまいります。こうした考えを明確にし、社会的責任を果たすために常に次の方針を念頭において事業に取り組み、地球環境に調和し、地域住民・顧客・社員・その他の利害関係者から信頼される事業者であり続けるよう、企業の発展と環境保全の両立を図っていきます。

(環境方針)

(1) 環境への影響を調査及び評価し、主な要因を効果的に低減または削減し、汚染を予防するため、技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき環境目的及び環境目標を定めます。

(2) そのために計画を立案し、実施し、成果を評価して見直し、さらなる改善目的及び目標につなげるための環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善します。

(3) 環境に関する法規法令・規制・条例・協定・その他の合意事項を遵守するのみならず、自主的な環境管理基準を策定し、一層の環境保全を図ります。

(4) 全社員への環境方針の理解、環境に関する意識向上を図るため必要な教育訓練を行い、なすべき行動がとれる人材に育成します。

(5) 工場内の5Sの促進を通じた美化運動を推進します。

(6) 次の項目については、積極的に推進します。

① 資源対策: 設計を通じた原材料の有効利用

② 温暖化対策: 電気・ガス・燃料の節減

③ 汚染対策: 排ガス・廃油・廃液などの抑制と適正管理

④ 廃棄物対策: 産業廃棄物の排出削減とリサイクルの推進

基本理念及び環境方針は、全社員に周知するとともに、社内外にも開示し、求めに応じて一般の人にも入手できるようにします。また、主な協力会社及び原材料納入業者にも呼びかけて、本方針に沿っての企業活動を求めています。

2 取組実績

- | | |
|---|---|
| ① | 電気使用量は25年度は24年比36%減少した。業務量の減少もあるが、昼休みの消灯、非使用場所の消灯、空調の適正使用等節電意識が習慣化した。 |
| ② | ガソリンは25年度も24年比1%減と6年連続で減少を示し、社有車の見直し、エコ運転の周知徹底等により削減されていることが確認できた。 |
| ③ | 灯油使用量は25年度は24年比20%増加した。気候と業務量との相関の把握・分析に努めたい。 |
| ④ | 5S活動が徹底され、工場内の整理整頓により、端材の活用を含む原材料・資材の有効利用が成果を上げている。 |
| ⑤ | 5S活動により工場内の清掃・不要物の分別・廃棄物の適正処理が進み、作業環境が改善・向上。環境に関する法規制が順守されている。 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|--|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社横手製作所 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 横手孝輔 | |
| 190399 | 所在地 | 渋川市 金井190 | |
| | 事業内容 | 金属加工業(プレス・精密板金)、通信機器、医療機器、設備等の筐体・メカ部品の製造 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 |
| | | 従業員数 | 19 人 |

1 環境基本方針

「環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境保全に貢献する」という理念のもとに、企業活動を通じて人類の健康と安全に寄与し、かけがえない地球の環境と共存する企業を目指して、下記の基本方針を定める。

- 1) 事業活動、製品において、環境影響に適切に対応する環境管理活動を実施し、社会的要求に応え、「美しい日本」づくりに寄与いたします。
- 2) 環境目的及び目標を定め、その達成の為最善の努力をする。又継続的改善を図り、汚染の予防に努め、環境目的及び目標は、逐次見直しをする。
- 3) 環境関連法規、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境の保全と向上に努める。
- 4) 全社員が環境方針を理解、周知徹底が図れるよう、本方針に則した環境教育を実施する。

2 取組実績

- ① 不良品低減による廃棄低減。加工仕損の低減。
- ② エアコンの使用時間を明記。
- ③ 梱包部材の再利用化。
- ④ 不要電灯の消灯。
- ⑤ 省エネ電球へ切替。

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|------------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社ワーテックス | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 安俊典 | |
| 190400 | 所在地 | 太田市 強戸町162-13 | |
| | 事業内容 | 液晶関係・車両後方確認支援システムなどの開発・製造・販売 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 65,000 千円 |
| | | 従業員数 | 50 人 |

1 環境基本方針

全ての社員が地球温暖化や環境問題に対して興味を持ち理解を深めていけるよう社員教育の場を設けるようにする。社外においても積極的に環境活動に参加するようにしたい。
会社の備品や私物に対しても一つ一つ丁寧に扱うことを心掛ける。
自社製品を通じて、社会全体へ省エネ活動をPRしていく。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| ① 空調設備の設定温度・湿度の管理 |
| ② 気候状況によるクールビズ・ウォームビズへの切り替え実施 |
| ③ 省エネ製品・省燃費製品の導入 |
| ④ ブラインドの活用 |
| ⑤ 待機電力の削減 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|-----------------|------------|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社千代田製作所本社・工場 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 大江通浩 | |
| 190401 | 所 在 地 | 太田市 西新町126-2 | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の製造・販売 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 360,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 119 人 |

1 環境基本方針

豊かな未来社会の創造のため、事業活動の質を高め、人と地球に優しい製品と環境づくりに努めます。

- 1.自動車用プラスチック製品及びワイヤーハーネスを主体とした製品の設計・開発から製造、サービス及び廃棄までの全ての事業活動について、環境への影響を考慮して、継続的改善に努めます。
- 2.事業活動に伴う、廃棄物及び環境汚染物質の管理・削減を図るとともに環境汚染の予防に取り組み、関連法規や約束等を順守いたします。
- 3.事業活動に伴う、電気等のエネルギー削減及び資源のリデュース、リユース、リサイクル等の有効活用を積極的に推進いたします。
- 4.環境目的・目標を明確に設定し、組織的に推進すると共に年1回以上の見直しを実施し、環境問題を解決していきます。
- 5.『継続的な改善と環境汚染の未然防止』の重要性を認識し、一人一人が自覚と自律を持った行動と、地域社会の交流に積極的に参加し、環境保護活動に協力いたします。

2 取組実績

| |
|--------------------------------|
| ① 仕損発生金額の35%削減(基準年度23年度) |
| ② エネルギー資源の使用量売上比2%削減(基準年度23年度) |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|-----------------|------------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社千代田製作所 新田工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 大江通浩 | | |
| 190402 | 所 在 地 | 太田市 新田小金井町320-5 | | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の製造・販売 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 360,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 125 人 | |

1 環境基本方針

豊かな未来社会の創造のため、事業活動の質を高め、人と地球に優しい製品と環境づくりに努めます。

- 1.自動車用プラスチック製品及びワイヤーハーネスを主体とした製品の設計・開発から製造、サービス及び廃棄までの全ての事業活動について、環境への影響を考慮して、継続的改善に努めます。
- 2.事業活動に伴う、廃棄物及び環境汚染物質の管理・削減を図るとともに環境汚染の予防に取り組み、関連法規や約束等を順守いたします。
- 3.事業活動に伴う、電気等のエネルギー削減及び資源のリデュース、リユース、リサイクル等の有効活用を積極的に推進いたします。
- 4.環境目的・目標を明確に設定し、組織的に推進すると共に年1回以上の見直しを実施し、環境問題を解決していきます。
- 5.『継続的な改善と環境汚染の未然防止』の重要性を認識し、一人一人が自覚と自律を持った行動と、地域社会の交流に積極的に参加し、環境保護活動に協力いたします。

2 取組実績

| |
|--------------------------------|
| ① 仕損発生金額の35%削減(基準年度23年度) |
| ② エネルギー資源の使用量売上比2%削減(基準年度23年度) |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|--------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社ミツバ 富岡工場 | | |
| | 代表者氏名 | 工場長 稲村春喜 | | |
| 190403 | 所在地 | 富岡市 富岡1259-1 | | |
| | 事業内容 | 自動車部分品・附属品製造業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 9,885,337 千円 | |
| | | 従業員数 | 410 人 | |

1 環境基本方針

私たちは、社会と環境に調和した技術開発を通して、自然環境との継続的な共生を図り、豊かで安心できる環境の実現を目指します。

2 取組実績

- ① COOL BIZおよびWARM BIZの社内展開を行う
- ② 室温の適正管理を実施する
- ③ 空調設備の高効率入れ替えを群馬県内2拠点で実施した
- ④ 不要照明の消灯を展開した
- ⑤ 水銀灯・蛍光灯の計画的なLED化を推進した

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社テクニカ | | |
| | 代表者氏名 | 荒井武夫 | | |
| 190405 | 所在地 | 邑楽町 篠塚1373 | | |
| | 事業内容 | 超音波洗浄装置、脱気装置等の製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 2 人 | |

1 環境基本方針

省エネルギー対策イコール地球環境保護、そして地球温暖化防止に寄与すると認識し、全ての事業活動において環境を最優先に考え、実践する。
1. エネルギーを継続して削減できる事業活動を実践する為、社内の体制の見直し、整備に努力する。
2. 事業活動のみでなく、普段の活動も環境問題を考えた行動ができる様、周知徹底する。
3. 自然エネルギーの有効利用を図る為の設備及び装置の開発に努力する。

2 取組実績

- | |
|---------------------------------|
| ① 冷暖房の管理(冷房28°C/暖房20°C)、使用時間を限定 |
| ② 空調管理(扇風機、加湿器、除湿機の併用) |
| ③ 不必要時、不使用時の消灯の徹底 |
| ④ 自動車燃料としてBDFの併用 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社田村軽合金鑄造所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 田村貢一郎 | | |
| 190406 | 所在地 | 明和町 矢島1017 | | |
| | 事業内容 | アルミ鑄造業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

「地球環境の保護」「資源エネルギーの保全」を理念とし素形材産業の全ての事業活動に於いて環境負荷を抑制し地球保全活動を推進します。

- 1.環境負荷軽減の目標を定め実施状況を確認し継続的な改善を推進し環境汚染防止に努める。
- 2.原材料、エネルギーなどの利用の効率化を図り資源リサイクルに努める。
- 3.環境の意識向上を図るために社員への環境教育に努める。

2 取組実績

- ① 事務所、工場内の高効率照明(LED・電球型蛍光灯)への更新
- ② 空調温度の適正化
- ③ 休憩時間などの消灯、非使用場所の消灯の徹底
- ④ 原材料の溶解保持時間の短縮(ガス使用量の低減)
- ⑤ 原材料のリサイクルの徹底

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 重田商事株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 菅原健司 | |
| 190409 | 所在地 | 孺恋村 大字芦生田205 | |
| | 事業内容 | 建物解体業、産業廃棄物中間処理(許可番号1020007219)、一般建設業(群馬県知事許可(般-15)第19012号) | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 |
| | | 従業員数 | 28 人 |

1 環境基本方針

(基本理念)

重田商事株式会社は建物解体業、廃棄物収集運搬業・廃棄物中間処理業・リサイクル業として廃棄物の「発生抑制」「再使用」「適正処理」に取り組んでいます。

今後も地球環境及び地域環境に密接に関わっていることを深く認識し、事業活動を通じて環境保全及び循環型社会形成に貢献します。

(基本方針)

1) 当社の活動によって生じる環境側面を認識し、下記事項を目的として環境汚染の予防・環境負荷の低減・省資源・省エネルギー・リサイクル推進に努めます。

- ①重機・車両による軽油の消費削減
- ②設備及び事務所における電力の消費削減
- ③再生品の販売促進
- ④廃プラスチック類の再生利用促進

2) 当社は環境に関わる環境関連法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。

3) 当社は環境目的・環境目標を設定し実施すると共に、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を行います。

4) 当社の環境方針は全構成員に周知徹底し、環境意識の向上をはかります。

5) 当社の環境方針は一般公開します。さらにお客様とのコミュニケーションを大切にし、循環型社会形成を進めます。

2 取組実績

① 太陽光発電設備を新たに設置

② 廃棄物のリサイクルを促進

③ 破碎等を効率的に使用し、電力の消費を抑えました。

④ 家畜の糞尿と食品廃棄物を利用するメタンガス発酵施設を計画。既に廃棄物処理施設事前協議書を提出

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社井上整備センター | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 井上紳一 | | |
| 190410 | 所在地 | 高崎市 倉賀野町3369 | | |
| | 事業内容 | 建設機械の販売、整備及び機材の販売 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

【基本理念】

私たちは、かけがえのない、地球環境のたまものである水と空気を大切に使いかつ可能な限り環境へ負担をかけない経営を目指し建設機械の販売、整備業という事業活動と環境保全の調和をはかり企業市民としてふさわしくあるように積極的の努力します。

【行動指針】

株式会社井上整備センターは、当社の事業活動に関連する環境法令、地域協定、業界規範を遵守するとともに、以下の項目について、環境目標を定めて自主的な活動に取り組みます。(5S活動を中心にして)

- 1.環境に配慮した建設機械の販売及び情報提供、機材の販売と機械の点検、整備の提供に努めます
 - 2.建設機械の安全の為、特定自主検査と車検整備を励行します
 - 3.CO2排出削減量の削減に努めます
 - 4.排出する物のリサイクルの推進並びに廃棄物の削減及び適切な処理に努めます
 - 5.水の適正使用に努めるとともに排水の水質に配慮します。
 - 6.グリーン購入を推進し、環境負荷が少ない物を購入、使用するよう努めます
- この環境方針は全従業員に周知徹底するとともに、一人ひとりが役割を自覚して行動します。そして、定期的に見直し、継続的に改善をすすめます。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| ① 冷房温度28℃設定とクールビズ運動 |
| ② 空調管理(夏28℃、冬20℃) |
| ③ エアコン室外機の日よけ |
| ④ 分別ボックスの設置 |
| ⑤ トイレ排水の水量調整 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|----------------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社内外 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 齊藤哲夫 | |
| 190411 | 所 在 地 | 高崎市 上豊岡町561-8 | |
| | 事 業 内 容 | 自動車部品の製造(主にターボチャージャー用コンプレッサーカバー) | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 96,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 50 人 |

1 環境基本方針

- a. 当社の業である鋳物造りにおいて、省資源の推進、省エネルギーの推進、廃棄物の削減及びリサイクル推進などに積極的に取り組み、環境保全の向上に努める。
- b. 環境管理体制を整備し、継続的な改善と汚染の予防に努める。
- c. 環境法規制及び利害関係者との同意事項を遵守する。
- d. 活動の推進にあたっては、環境目的及び環境目標を設定する。また定期的な見直しを実施する。
- e. 本方針を文書化し、全社員に周知徹底し、その推進と維持に努める。
- f. 本方針は、社外から要求があれば開示する。

2 取組実績

- ① 子会社との生産拠点集約→生産組合せによる余剰設備明確化と稼働停止。
- ② 子会社との生産拠点集約→生産組合せによる必要設備の24時間稼働。
- ③ 空調管理の徹底
- ④ 生産性向上活動
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社しみづ農園 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 清水一秋 | | |
| 190412 | 所在地 | 高崎市 柴崎町1563 | | |
| | 事業内容 | 造園緑化、景観照明、(特19-第453号) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 7 人 | |

1 環境基本方針

- ・積極的な緑化推進／緑化啓発／美化を行います。
- ・天然資源の有効活用を行います。
- ・環境関連法規制を遵守します。
- ・造園業が環境に有益な仕事であるという自覚と自負をもち、自らの業務の継続的な見直しと改善に努めます。

2 取組実績

- ① 空調の適正利用
- ② 使用していない灯具の消灯、機械類の主電源オフ
- ③ LED照明、高効率蛍光灯の使用
- ④ 風力・太陽光発電システムの導入
- ⑤ 空調機器、照明機器の買い換え検討

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社三共エクセル | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 亀山謙一 | | |
| 190413 | 所在地 | みどり市 笠懸町久宮68 | | |
| | 事業内容 | 遊技機およびその他の射出成形品の製造、組立加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 250,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 120 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題等の環境問題が人類の共通の課題であることを認識し、次の基本方針に基づき、従業員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. 環境に影響を与える化学物質の管理体制の整備に努める。
3. すべての従業員が環境問題に対する理解を深め行動できるように、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

① 省エネ設備に入れ替え

② 空調温度の適正化(原則として冷房28℃、暖房21℃)と使用制限

③ 照明器具の使用台数削減

④ 廃棄物管理の見直しによる一般ごみおよび産業廃棄物の減量(有価物化など)

⑤ 終業時間外(昼休み、休憩時間)の消灯と未使機器のコンセント抜き

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---------------------------|----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社町田製作所 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 町田敏康 | |
| 190414 | 所在地 | 前橋市 公田町324-1 | |
| | 事業内容 | アルミニウム製品(主にヒートシンク)の精密機械加工 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 1,000 千円 |
| | | 従業員数 | 28 人 |

1 環境基本方針

「群馬環境GS認定制度」に賛同し地球温暖化対策への取り組みとして、次の基本方針に沿った行動を社員一丸となって実践する。

- 1.二酸化炭素等の温室効果ガス削減に向けた社内体制の整備を計る。
- 2.全社員が地球環境に関心を持ち、理解を深め行動出来る様に、情報の提供や環境教育の場を広める。
- 3.限り有る地球資源の有効活用に努める。

2 取組実績

- ① 省エネタイプのコンプレッサーへの順次切り替え。
- ② 省エネ照明(LED照明)への順次切り替え。
- ③ 夏場のエアコン負荷の低減(西側窓への遮断材を取り付け)
- ④ 空調管理の適正化(温度調整とフィルターの定期清掃)
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 富田電機株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 佐圓治生 | | |
| 190415 | 所在地 | 大泉町 吉田2479 | | |
| | 事業内容 | コンプレッサー用モータ、各種ワイヤーハーネス | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 86,400 千円 | |
| | | 従業員数 | 204 人 | |

1 環境基本方針

富田電機は、企業活動を通じ「人と環境に優しい」をモットーに主要製品であるコンプレッサ用電動コイル及びワイヤーハーネスの生産・サービス等あらゆる面で環境の保全に配慮して行動します。

- ・地球温暖化の予防を図るため生産活動に関わる省エネルギー対策として電力使用量の低減を図ります。
- ・資源の有効利用を図るため廃棄物の削減を推進します。

2 取組実績

- ① 各部署での不必要な個所の蛍光灯を外し節電を実施した。
- ② 17:00に全エアコンを停止し、17:00以降は必要な箇所のみ稼働させる様にした。
- ③ 商品仕入(外部委託-主に中国工場)を増やすことにより、残業時間の低減を図った。
- ④ 中間検査不良率の低下により、製造の廃棄物の低下を図った。(品質改善)
- ⑤ コピー費用、コピー用紙の低減を進めた。

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|-----------------|------------|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社オリエント 沼田サイト | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 渡辺通男 | |
| 190416 | 所 在 地 | 沼田市 恩田町376-1 | |
| | 事 業 内 容 | 各種木製品及び電子機器製造 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 200,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 296 人 |

1 環境基本方針

株式会社オリエントは、森林文化都市 沼田市に位置し、木材、木製品及び各種電子機器を製造、販売していることを踏まえ、環境マネジメントシステムを見直し、確立し、実行し、継続的な改善を行います。全従業員が一丸となり地球環境への負荷を削減し、地球環境保全に積極的に取り組み、自然環境との共生、調和を目指し社会と地域に対する責任を果たします。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスにおいて生じている環境側面を認識し、環境汚染防止に努める。

2. 当社の事業活動に関連する環境の法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3. 当社の事業活動・サービスに関わる環境側面のうち、環境影響評価の結果を考慮して、特に以下の項目に取り組む為、具体的な行動計画を策定し、継続的改善を実行します。

① 生産用設備・照明・空調設備などに使用する電力の削減及び効率的な利用。

② 地下水の効率的使用による削減。

③ 環境に配慮した適正な在庫の確保(在庫日数の低減)。

④ 品質の向上による工程内損失の削減(廃棄修理金額の削減)。

⑤ 事務用品(コピー用紙)の使用量の削減。

⑥ 廃棄物(廃プラスチック)削減とリサイクルの向上。

⑦ ボイラーのばいじん濃度・自主管理強化。

2 取組実績

① 生産の増加の中で、工程内品質の削減による廃棄物削減

② 設備改善と点検による省エネ対策と設備停止の改善。設備の改善による効率の向上。デマンド管理の強化

③ 歩留まりの管理と、原価管理での廃棄削減活動展開中

④ エア一漏れ点検と保守

⑤ 廃棄物管理の徹底

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社オリエント ハウジング事業部 高山工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 渡辺通男 | | |
| 190417 | 所在地 | 高山村 大字中山6408 | | |
| | 事業内容 | 各種木製品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 200,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 296 人 | |

1 環境基本方針

【環境基本理念】

株式会社オリエントは、森林文化都市 沼田市に位置し、木材、木製品を製造、販売していることを踏まえ、環境マネジメントシステムを見直し、確立し、実行し、継続的な改善を行います。全従業員が一丸となり地球環境への負荷を削減し、地球環境保全に積極的に取り組み、自然環境との共生、調和を目指し社会と地域に対する責任を果たします。

【行動指針】

1. 当社の事業活動、製品及びサービスにおいて生じている環境側面を認識し、環境汚染防止に努めると共にISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築・運用し、維持・改善をします。

2. 当社の事業活動に関連する環境の法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3. 当社の事業活動・サービスに関わる環境側面のうち、環境影響評価の結果を考慮して、特に以下の項目に取り組む為、具体的な行動計画を策定し、継続的改善を実行します。

①生産用設備・照明・空調設備などに使用する電力の削減及び効率的な利用。

②地下水の効率的な使用による削減。

③環境に配慮した適正な在庫の確保(在庫日数の低減)。

④品質の向上による工程内損失の削減(廃棄修理金額の削減)。

⑤事務用品(コピー用紙)の使用量の削減。

⑥廃棄物(廃プラスチック)削減とリサイクルの向上。

⑦ボイラーのばいじん濃度・自主管理強化。

⑧バイオマス蒸気発電機の自主管理。

4. 当社の環境方針は、文書化し組織で働く又は、組織の為に働く全ての人に周知徹底すると共に、一般の人に公表します。

2 取組実績

- | |
|---|
| ① 生産の増加の中で、工程内品質の削減による廃棄物削減 |
| ② 設備改善と点検による省エネ対策と設備停止の改善。設備の改善による効率の向上。デマンド管理の強化 |
| ③ 歩留まりの管理と、原価管理での廃棄削減活動展開中 |
| ④ エア一漏れ点検と保守 |
| ⑤ 廃棄物管理の徹底 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 杉原エス・イー・アイ株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 杉原徹樹 | | |
| 190418 | 所在地 | 伊勢崎市 今井町313 | | |
| | 事業内容 | 電子機器の組立、ハード・ソフトの設計 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 6,100 千円 | |
| | | 従業員数 | 160 人 | |

1 環境基本方針

(環境方針)

1.省資源・再資源化:業務の効率化・情報の電子化、資源の減量化・再生化により省資源・再資源化を図ります。
2.省エネルギー化:空調・照明・事務用機器・生産設備機器及び車両等の使用効率の向上を図り、エネルギー消費量の削減を図ります。
環境意識の向上:全社員の一人一人が環境保護に努め、地域社会との共生を図ります。

2 取組実績

- ① 設備稼働時間の効率向上・運用計画実行
- ② ピーク電力抑制:大型設備の時間差立上げ
- ③ クールビズ・ウォームビズ実行と、室内温度調整
- ④ 廃プラ:ICスティックのリサイクル化(有価物)拡大
- ⑤ ハイブリッド車導入

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|-------------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 清水印刷紙工株式会社 群馬工場 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 清水宏和 | |
| 190419 | 所在地 | 邑楽町 大字赤堀字鞍掛4127-1 | |
| | 事業内容 | 印刷業・印刷物加工業 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 38,000 千円 |
| | | 従業員数 | 24 人 |

1 環境基本方針

(基本理念)

当社は経営理念である「唯一無二な発想から生まれるGPP(グリーン・プリンティング&パッケージング)」に基づき、地球環境問題が全世界共通の取り組み課題であることを再認識し、企業責任である”環境との調和”を図り、ユニークなアプローチによる環境負荷低減を考慮した事業活動を展開する。

(環境方針)

清水印刷紙工株式会社の中核事業である印刷物製造に伴う事業活動・製品の環境影響を正確に把握し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定・レビューの枠組みを整え、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。

①当社社員全員が環境問題を永続的経営課題であることを再認識し、環境目的・目標・実施計画に基づいて積極的に活動することで、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。

②当社が行う事業活動・製品の環境への影響を考慮して汚染の予防を推進する。

* 調達・製造・廃棄(リサイクル)の各段階における環境負荷低減を配慮した印刷物(GPP)の設計を推進する。

* 事業活動に関わる環境影響を数値的に捉えることで、プラス・マイナスのインパクトを正確に算出し、環境負荷低減活動へのフィードバックを推進する。

* 資材の原材料・素原料に含有される有害化学物質の徹底管理・使用量削減・代替品への切替えを推進する。

* 環境マネジメントシステムに品質管理システムを構築することで廃棄物削減を推進する。

* 地震・風水害・火災・操作ミスによる緊急時対応システムの強化を推進する。

③国・地方自治体等の環境法規制並びにその他の要求事項を遵守し、継続的な使用材料・製品設計のレビュー及び改善による自主的な環境負荷削減を実行し、その為の研究開発をする。

④環境内部監査をすることで定期的なレビューを実施し、環境マネジメントシステムの自主管理による維持向上を推進する。

⑤設定した環境方針は社内では全社員への周知徹底、社外へはこれを公表すると同時に、環境パフォーマンス評価についても社外へ公表する。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| ① 節電についての社内教育 |
| ② デマンド監視装置による電力管理 |
| ③ 空調温度(製造現場:夏25℃/冬20℃)の徹底管理 |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 協同組合群馬炊飯センター | | |
| | 代表者氏名 | 理事長 金古勝 | | |
| 190421 | 所在地 | 前橋市 西片貝町5-11-1 | | |
| | 事業内容 | 学校給食米飯加工・パン製造業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 35,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 98 人 | |

1 環境基本方針

(協)群馬炊飯センターは、地球温暖化が地球全体の深刻な問題であることから以下の基本方針を作成し、従業員全員が事業活動の全分野で環境に配慮した行動を実践します。

- 1.温室効果ガス排出を持続的には排出できる事業活動を推進する社内の体制を作る。
- 2.全従業員が環境に関する学習を進め、行動できるようにします。
- 3.温室効果ガスの少ない配送車や製造の機械を研究し導入に努めます。

2 取組実績

① 可能な限り空調設備の使用を抑え、また温度の適正を決め使用した。

② 従業員の省エネ教育の推進により積極的に取り組んだ。

③ 作業員に影響を及ぼさない照明等の消灯に努めた。

④ 環境に配慮したボイラー設備(ガス燃料)の入れ替えを行った。そのことによりCO2の排出量を抑えることに努める。

⑤ 作業に使用している排水の再利用の取り組み

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社群馬断熱 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 糸屋文夫 | | |
| 190422 | 所在地 | 太田市 下田島町474 | | |
| | 事業内容 | ウレタン成形及び板金加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 20 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し社員に自覚させ事業活動を実施する。

- ①温室効果ガスの排出が削減できる事業活動を推進する為社内体制を整備する。
- ②社員一致で環境問題に理解を深め教育の実施を進める。

2 取組実績

① クールビズの実施(TシャツOK)

② 使用機械を管理し電力ピークを下げ平準化する。

③ レイアウトの変更により、空調設備の一機停止

④ 節電や廃棄物削減に対する社員教育の徹底

⑤ 休憩所の分散を削減し、夏などエアコンの稼働を減らす

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社アルミテック | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 池内辰宏 | | |
| 190423 | 所在地 | 前橋市 粕川町女淵577-20 | | |
| | 事業内容 | アルミ合金製管継手・特殊合金製管継手製造販売 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 10 人 | |

1 環境基本方針

地球環境の保全が、地球上で生活を営む全てのものの重要課題の一つであることを認識し、自然環境への影響を考慮して行動することを基本理念とする。又、当社は従業員と信頼関係を確立し、独自の製品をもって社会に貢献しつつ、従業員の最大幸福を追求することを経営方針とする。

1. 当社の継手製造、販売に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に、環境マネジメントシステムの継続的改善を行う。
2. 当社の継手製造、販売に関わる環境関連の法律、規制、条例及び当社が同意する要求事項を順守する。
3. 当社は継手製造、販売に関わる環境影響において、次の項目を重点課題として取り組む。
 - (1)CO2排出量の削減と省エネルギーに取り組む。
 - (2)環境負荷の軽減に貢献できる製品の製造、販売を推進する。
4. 当社は環境方針を達成するために、目的及び目標を設定し、環境管理活動を推進する。又定期的に見直しを行い、必要に応じて改正を行う。
5. 自然環境への影響を考慮して、CO2吸収のための自社保有緑地の保全管理を行う。

2 取組実績

① 自社緑地の維持管理(植樹、剪定、除草)により、自社排出のCO2を吸着。
(緑地の推定CO2吸着量7.5t)

② 事務所で出る不要書類の紙ごみをシュレッダーにかけ、シュレッダーダスト
を製品出荷時の梱包用緩衝材として利用することにより、紙ごみの97%を
削減し、梱包材購入費も50%削減。

③ エアコン稼働時間、温度管理により、つけっぱなしを減らし効率的なエアコン
使用を行うことにより使用電力を削減。

④ 休憩時間の照明器具とOA機器の電源オフとエアコンの温度管理により、
電気使用量が前年比1%削減。

⑤ アルミパイプ材購入時の梱包材(包み紙)を自社製品の梱包材に再利用す
ることにより梱包材購入費の削減。トータルで50%削減。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | サイトー機械金属株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 齋藤良明 | | |
| 190424 | 所在地 | 伊勢崎市 上泉町100-1 | | |
| | 事業内容 | アイスクャンディー用ステンレス凍結缶(食品自動機械設計製作) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 19 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める

2 取組実績

- ① プレス等のサーボ化による省電力化
- ② 蛍光灯を必要最小限に取り外し
- ③ 休憩中の消灯
- ④ コピー用紙の裏面活用
- ⑤ エアコンの設定温度を28℃にして扇風機を活用

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社斎藤製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 斎藤良明 | | |
| 190425 | 所在地 | 伊勢崎市 境下湊名53 | | |
| | 事業内容 | ALC建材加工、製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 11 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める

2 取組実績

- ① 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)に努める。
- ② 空調管理責任者を設置する。
- ③ 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底。
- ④ 両面コピーを徹底する。
- ⑤ 使い捨て製品の購入を抑制する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|--------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社松本電設 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 松本貞雄 | | |
| 190427 | 所在地 | 太田市 台之郷1437-21 | | |
| | 事業内容 | 電機工事業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 300 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

球温暖化が社会問題になっていることを認識し、会社は小さいが少しでも協力することに努める。

2 取組実績

① 社内でリサイクル出来る物は常に実行

② 両面コピーの実施

③ 新しい物を購入しないように努めた

④ 室内の温度調整に努めた

⑤ エコドライブの実施

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---------------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社十王電設 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 星野敦 | |
| 190428 | 所在地 | 沼田市 西原新町97-4 | |
| | 事業内容 | 電気・管・通信・土木・しゅんせつ工事業 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 |
| | | 従業員数 | 7 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動ができるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 離席時等、使用しないOA機器の電源を切る。
- ② 昼休み等休憩時間の消灯、非使用場所の消灯を徹底する。
- ③ 使用済み用紙の裏面利用の推進。
- ④ 両面コピーを徹底する。
- ⑤ エコドライブを組織的に実施する。(積荷等の管理)

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---------------------------------|----------|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社玉木製作所 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 玉木靖弘 | |
| 190430 | 所在地 | 桐生市 境野町1-847 | |
| | 事業内容 | OA機器・自動車・車両・ATM機器・医療機器等の金属部品の製造 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 |
| | | 従業員数 | 15 人 |

1 環境基本方針

(基本理念)

当社は、OA機器・自動車・ATM機器・医療機器等、金属部品の製造に当たり事業活動の全領域で環境にやさしい企業をめざします。

(行動指針)

- 1, CO2の排出抑制、総排水抑制については、改善目標管理をおこないます。
 - 2, 2Sを進めます。
 - 3, 環境関連法令を遵守します。
- この環境方針は、外部の人にも公開します。

2 取組実績

① 照明不要時のOFFの推進

② 不良削減のための品質ミーティング

③ 網戸の張替え、すだれ等の設置

④ 2S指導、支援の実施

⑤ コピー用紙再生紙使用の物の購入

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社榊澤ダイカスト工業所 | | |
| | 代表者氏名 | 榊澤清雄 | | |
| 190432 | 所在地 | 高崎市 箕郷町下芝236-1 | | |
| | 事業内容 | ダイカスト製品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 9 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、以下の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践致します。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減出来る活動を推進する為、社内体制の整備に努める
- 2.全ての社員が環境問題に対する理解を深め行動を出来るよう環境教育に努める。

2 取組実績

- ① エコドライブ教育の実施、各車両の燃費管理。
- ② 高効率照明への更新(随時)。
- ③ 空調管理の適正化(サーキュレーターの導入)。
- ④ コンプレッサーのインバーター化。
- ⑤ リサイクル体制の強化。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 高信化学株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋弘樹 | | |
| 190433 | 所在地 | 高崎市 大八木町801 | | |
| | 事業内容 | 試薬、工業薬品、機器、機材等の販売等 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 62 人 | |

1 環境基本方針

化学、製薬、バイオテクノロジー、IT、環境食品など、あらゆる分野での進歩をサポートしている企業であり、エコロジー時代の取り巻く環境問題への解決のサポートにも多く関わっております。
よって、次の基本方針に則し、全員で自覚をもって環境に配慮した行動を実践します。

- 1.社内の空調温度の適正、節電の継続に向けて担当者を設置し計画し、管理体制を整える。
- 2.廃棄物をリサイクル出来る社内ルールを決め、教育をしていく事で個人の生活でも行動できるようにする。

2 取組実績

- ① 太陽光発電の導入を行い、12月より発電開始
- ② ハイブリッド車及び燃費効率の良い車両を交換購入(9台)
- ③ お昼の1時間消灯の継続実施
- ④ ガソリンフォークリフトから充電式フォークリフトへの変更
- ⑤ WindowsXP終了に合わせて省エネタイプのパソコンへ交換(52台)

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社市川鉄工 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 市川導宏 | |
| 190437 | 所在地 | みどり市 笠懸町久宮364-1 | |
| | 事業内容 | 三次元CAD・CAMIによる各種精密部品加工及び自社製品(繊維機械)開発・設計・製造・販売 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 15,000 千円 |
| | | 従業員数 | 25 人 |

1 環境基本方針

株式会社 市川鉄工は、地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減出来る事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

- | |
|-----------------|
| ① デマンド監視装置の活用徹底 |
| ② 空調温度の適正化の徹底 |
| ③ 作業時間外での消灯の徹底 |
| ④ 不使用場所の消灯の徹底 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|---|-----------|
| 認定番号 | 名 称 | 有限会社須田工業 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 須田政司 | |
| 190438 | 所 在 地 | 前橋市 富士見町赤城山97 | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業(群馬県知事 特-15 003868号)・産業廃棄物処理業(群馬県 1040000261号) | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 20,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 29 人 |

1 環境基本方針

〈環境理念〉

生活が円滑に営まれるために、道路などの公共施設の施行を通じ、地域開発や環境整備を進めると共に、産業廃棄物処理施設において、廃棄物の適切な処理や、資源の有効的再利用などの環境保全に努めていきます。「地球に優しく、資源を大切に！」を基本テーマとして、事業活動に伴う環境への影響を把握し、より豊かで明るい未来に向けて、循環型社会の実現を目指し、地域社会へ貢献する活動に取り組んでいきます。

〈環境方針〉

- (1) 私たちは、事業活動を通じて環境負荷を少なくする為に目的・目標を定め定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努め、社会的責任を果たしています。
- (2) 関連する環境法規制及び当社の同意するその他の要求事項を遵守します。
- (3) 環境に与える影響を低減する為に次の事項に対して積極的に取り組みます。
 - ① 工事現場における3Rの促進
 - ② 廃棄物処理工程におけるリサイクル率向上の推進
 - ③ 省エネの推進
- (4) 全従業員及び関係協力業者に対する教育を行い環境方針の周知徹底と意識の向上を図ります。
- (5) この環境方針は、全従業員に周知し、社内に掲示すると共に一般に公開します。

2 取組実績

① 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底。

② エコドライブの組織的に実施する。

③ 両面コピー、集約コピーを徹底する。

④ 未使用コンセントの確認を徹底する。

⑤ 最終処分場(埋立)となるゴミの減量化に努める。(徹底選別の徹底)

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|--|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社食環境衛生研究所 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 久保一弘 | |
| 190439 | 所在地 | 前橋市 荒口町561-21 | |
| | 事業内容 | 検査業 (GLP、GCP、食品検査、臨床検査、環境検査等) (衛生検査所 第41号) | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 |
| | | 従業員数 | 52 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題の一つであることを認識し、次の基本方針に則り、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、中・長期的な地球温暖化対策の実効性を確保します。

- ① 温室効果ガスの排出が継続的に削減できる社内体制の整備に努める。
- ② 社員すべてが環境問題に理解を深めるための教育訓練の充実に努める。
- ③ 温室効果ガスの排出と吸収のバランスを保つための方策に努める。

2 取組実績

① H24年3月より順次太陽光発電装置を設置し、昨年度は年間で「発電量 176502kwh」「売電価格7344625円」をまかなう事が出来ました。

② H24年3月に本社および食品医療品分析センター(前橋市西大室町)の照明の大部分である243本をLED蛍光灯に切り替え、今年度も省エネを実現することができました。

③ 昨年度同様、社用車の利用者には毎月走行記録・およびメンテナンス記録の提出を義務付けており、ガソリン代の削減と、社用車の寿命を延ばせるよう徹底しております。

④ 社員同士の携帯電話は通話代無料のプランに加入し、携帯電話代の削減を図っております。

⑤ コピーの際の裏紙の使用の推奨及びカラーコピー使用は最低限度に抑えることの2つを徹底しております。

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|---------------|----------|
| 認定番号 | 名 称 | 有限会社サンテックス | |
| | 代表者氏名 | 田村徳良 | |
| 190440 | 所 在 地 | 安中市 上間仁田208-1 | |
| | 事 業 内 容 | 金属の切削加工 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 26 人 |

1 環境基本方針

(環境理念)

地球規模の環境保全が全人類の重要課題の一つであることを認識し、経営理念に基づき当社の企業活動において環境負荷の継続的低減に努め、持続的に発展する社会の実現に寄与する。

(環境方針)

当社の、精密切削加工技術を通じた、企業活動にかかわる環境影響を常に意識し、環境保全、自然保護と資源の有効活用を目指して以下の方針に従って環境管理を行う。

(1)環境目的及び目標を年度ごとに定め、見直しながらその目標達成のために、技術的・経済的に可能な範囲で、全員が環境保全活動に取り組む。

(2)環境関連法規を遵守すると共に、全員が環境保全活動に取り組む。

(3)環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境保全体制の質向上と汚染の未然防止を図る。

(4)当社の企業活動において、次の項目を重点課題として取り組む。

①施設、設備の日常、定期管理を確実に実施し汚染を予防する。

②省エネルギーを推進する。

③工程品質の向上を図り、材料、資材等の有効活用を図る。

④廃棄物の減量、分別回収によりリサイクル化を推進する。

(5)社員に対して、環境理念、環境方針の周知をすると共に、環境保全に対する意識向上のため社員教育を推進する。

(6)この環境理念、方針は、社外からの要求に応じて開示します。

2 取組実績

- | |
|--|
| ① 仕事量の増加(下期)があり目標の達成は出来なかったがデマンドコントロールによる管理。 |
| ② エアコンプレッサー排熱の利用により冬季暖房電力の削減。 |
| ③ 各作業場、エアコン毎への省エネ設定によるエアコン電力の削減。 |
| ④ 切粉、端材の分別管理による再資源化。 |
| ⑤ エコ運転自己評価表の活用による自動車燃料の削減。 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 植木プラスチック株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 植木良久 | | |
| 190442 | 所在地 | 太田市 西新町8-7 | | |
| | 事業内容 | プラスチック板の成形加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 39,600 千円 | |
| | | 従業員数 | 98 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化対策に社員一丸となり、環境に配慮した行動を実践する。
1.温室効果ガスを削減できるよう、社内体制の整備に努める。
2.環境問題について全社員が理解を示すように指導をする。

2 取組実績

① 非使用成形機ヒーターを切る

② 事務所蛍光灯のLED化。

③ 常夜灯のLED化

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社根本製作所 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 根本豊太郎 | |
| 190443 | 所在地 | 太田市 新田村田町2127 | |
| | 事業内容 | 建設機械部品製造 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 18,249 千円 |
| | | 従業員数 | 48 人 |

1 環境基本方針

次の基本方針に則し、企業として地球温暖化の防止と環境保護に努める。
1.温室効果ガスの排出量を削減すべく、社内体制の整備に努める。
2.環境保護の観点から、ゴミの分別等の徹底を図る。
3.地球温暖化防止の為、設備の省力化、リサイクル化に努める。

2 取組実績

- ① 太陽光パネル導入による再生可能エネルギー生成。
- ② デマンド管理による消費電力管理。
- ③ LED照明の導入。
- ④ 昼休み消灯、未使用場所消灯、未使用設備電源オフ。
- ⑤ 社用車をハイブリッド車に変更。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | マキバ電子機器株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 石坂敏雄 | | |
| 190444 | 所在地 | 伊勢崎市 波志江町4161-4 | | |
| | 事業内容 | 自動車電装部品、事務機・産業機器クラッチ部品の製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 64 人 | |

1 環境基本方針

| |
|--|
| <p>《環境理念》 (1)地球環境保護 (2)信頼・協調 《環境方針》 自動車電装部品、事務機・クラッチ部品及び産業機器スイッチ部品の製造工程において環境に優しい企業活動に向けて具体的な「環境目標」を設定し、効果的・継続的な取り組みを図ります。 (1)環境負荷実績と環境取り組みへの意識の改善向上に努めます。 (2)水の使用量とCO2削減の推進を図ります。 (3)環境関連法令を遵守致します。 (4)廃棄物の削減と適正処理(分別・リサイクル等)に努めます。 (5)生産工程の省資源化に向け、稼働率の向上/不良発生率の低減に努めます。</p> |
|--|

2 取組実績

| |
|-----------------|
| ① エアコンの稼働時間を定める |
| ② 窓にダイエツプチ貼り付け |
| ③ 緩衝材再利用 |
| ④ エアコンのデマツドカット |
| ⑤ 西日対策 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 桐生水道株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大川恭史 | |
| 190447 | 所在地 | 桐生市 錦町1-5-8 | |
| | 事業内容 | 管工事・水道施設工事・消防施設工事・土木工事 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 |
| | | 従業員数 | 8 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- ①省エネルギー・環境保全を一層促進するため、技術面の提案をする。
- ②温室効果ガスの削減をめざす事業活動を推進し社内体制の整備に努める。

2 取組実績

- ① OA機器は省エネモードに設定する。
- ② ブラインドやカーテンを有効に利用する。
- ③ 昼休みなどOA機器(パソコン、プリンター、コピーなど)を使用しない時は電源を切る。
- ④ 自動車運転時は、アイドリングストップを励行し、急発進、急加速などをやめる。
- ⑤ 再使用容器での商品を購入する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社屋敷治二商店 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 和泉澤賢治 | | |
| 190448 | 所在地 | 安中市 安中5-1-39 | | |
| | 事業内容 | 産業廃棄物中間処分業、産業廃棄物収集運搬業、金属再生業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 10 人 | |

1 環境基本方針

《環境理念》
有限会社屋敷治二商店は、産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業及び金属再生業の事業活動をとおして、地球と地域の環境の保全に貢献します。

《環境方針》
1.環境経営に積極的に取り組むために、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組みます。
2.環境への取り組みとして、特に次の事項に取り組めます。
・廃棄物から有価物を収集し、再生利用効率の向上
・廃棄物の適正処理と情報開示
・循環型社会形成のための社会貢献
3.環境に関する法律・規則・協定を遵守します。
4.環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| ① 昼休みの消灯徹底、不要電源オフの徹底の継続 |
| ② 冷房28℃、暖房25℃の温度徹底 |
| ③ アイドリングストップ、エコドライブ |
| ④ コピー用紙削減(ペーパーレス化) |
| ⑤ 分別の徹底、廃棄物排出量の把握 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|--------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 藤田エンジニアリング株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 藤田実 | | |
| 190450 | 所在地 | 高崎市 飯塚町1174-5 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 1,029,213 千円 | |
| | | 従業員数 | 226 人 | |

1 環境基本方針

藤田エンジニアリング株式会社は環境問題への取組みを社会的責務と認識し豊かな循環型社会の実現に貢献します。

2 取組実績

- ① 事務所内照明 蛍光管の間引きと離席時の消灯
- ② 中間期(4.5月・10.11月) 事務所内空調機の停止(窓解放)
- ③ 事務所内空調設定温度の見直し(夏28℃、冬20℃)
- ④ 事務機器等の不要な待機電力カット
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社杵淵製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 杵淵整一 | | |
| 190451 | 所在地 | 伊勢崎市 下植木町936 | | |
| | 事業内容 | 電機めっき業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 8,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 13 人 | |

1 環境基本方針

エネルギー源として電力・灯油を中心にCO2を排出しています。これらのエネルギーを効率の良い利用と無駄のない生産活動により、CO2の排出を抑える会社組織を作り、環境にやさしい生産活動が行える工場を目指す事を基本方針とします。

2 取組実績

- ① エアコンの交換により、省エネになったので古いエアコンの交換を進める
- ② 整流器の交換により、省エネになったので古い整流器の交換を進める
- ③ トラックを省エネルギーのトラックに交換し、使用を抑え、燃料を減少した
- ④ デマンドアラームにより電力量を把握し、効率の良い電力使用をした
- ⑤ 工場の稼働時間が生産量の増加と共に増加し、電力・灯油の使用量を増加させた。省エネルギーは進んだが、使用量は増えてしまった。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社マリントラベラー | | |
| | 代表者氏名 | 取締役 岩田一三 | | |
| 190452 | 所在地 | みどり市 笠懸町阿左美2465-1 | | |
| | 事業内容 | 潜水工事、土木工事、上下水道設備工事、環境計測機器設備工事 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 9 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。
3. 環境保護に対して有効な工事の開発普及に努める。

2 取組実績

- ① 照明他省エネ製品への更新に努める。
- ② エアコン使用時の温度設定の管理を強化する。
- ③ 昼休み休憩時間の消灯、非使用場所の消灯を徹底する。
- ④ 発生したゴミを社内で仕分け・分類し処理する。
- ⑤ 自転車利用できる時は、出来るだけ車を使用しない。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 久保田鑄工株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 久保田裕子 | | |
| 190453 | 所在地 | 前橋市 粕川町深津1880-1 | | |
| | 事業内容 | 鋳鉄鑄物製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 20 人 | |

1 環境基本方針

《基本理念》

久保田鑄工株式会社は、自動車部品を主軸とする鋳鉄鑄造業として地球環境の保全に配慮した循環型社会の一翼を担う立場として、経営・生産活動に全従業員で取り組みます。

《行動指針》

- ①CO2削減の為、エネルギーの効率的使用に努めます。
- ②廃棄物の削減を図ります。
- ③節水を心がけます。
- ④化学物質はそれぞれの法に則って適正使用管理します。
- ⑤グリーン購入の推進をします。
- ⑥環境負荷削減の為に社内全体の効率的運用を考えて行動します。
- ⑦工場敷地内の環境の緑化を維持します。
- ⑧関連法案の遵守をします。

2 取組実績

- ① H25年度は受注量の大幅減があり稼働率が下がった為、比例して電力量使用量も削減された。
- ② H24年度にコンプレッサーの更新を行った為、最大需要電力もH24年度を下回った。
- ③ 外気の取り入れ・温度管理(夏季のエアコン設定は29℃・冬季ストーブ設定は20℃など)
- ④ 不使用場所の消灯・不使用機器のコンセント抜き待機電力カット
- ⑤ 夏季のグリーンカーテンの実施、よしずの利用、打ち水など

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 渡辺アートブロー | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 渡辺正 | | |
| 190455 | 所在地 | 伊勢崎市 長沼町650-12 | | |
| | 事業内容 | 合成樹脂成形加工(ブロー成形) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が、人類共通の問題である事を認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進する為の社内体制の整備に努める。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深める為の環境教育の充実に努める。
- 3.温室効果ガスの排出量が少ない機械設置に努める。

2 取組実績

| |
|-----------|
| ① 機械稼働率減少 |
| ② |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 湯井電気株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 湯井知昭 | | |
| 190457 | 所在地 | 富岡市 富岡780-1 | | |
| | 事業内容 | 電機工事業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 40,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 22 人 | |

1 環境基本方針

環境保全への取り組みが企業活動に必須であることを認識し、下記の環境保全活動を継続的に推進して、持続的発展が可能な社会の実現に向けて努力する。

- 1、環境に与える負荷に配慮して事業活動を行う。
 - (1) 廃棄物の発生低減、適正処理を行う。
 - (2) 省エネルギー、省資源に努める。
- 2、環境保全関係の法令その他諸規定を遵守する。

2 取組実績

① 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)に努める。

② 昼休み、休憩時間の消灯、未使用場所の消灯を徹底。

③ 社内環境教育を実施する。

④ エコドライブを組織的に実施する。

⑤ 燃料補強剤使用による燃費向上。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社アイエムアイ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 今井久司 | | |
| 190460 | 所在地 | 富岡市 一ノ宮880-1 | | |
| | 事業内容 | 自動車用部品・二次電池用部品の生産 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 103 人 | |

1 環境基本方針

株式会社アイエムアイは金属加工プレス加工技術を用いて自動車部品、電池部品、その他金属加工部品の生産及び販売活動を主たる業務としています。その活動は地球環境の保全無しに成り立たない事を認識し、生産から販売までの事業活動全領域にわたって環境に与える負荷の最少化に取り組めます。

1. 当社の活動が環境に与える影響を把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標及び目標を設定し、定期的に見直しをかけた環境保全活動の継続的な改善向上を図ります。
2. 当社は環境関連法律、規制及び当社が同意するその他要求事項を遵守します。
3. 当社は生産活動を通し、省資源・省エネルギーを図り、廃棄物の削減及び再利用の拡大を行い環境維持・向上に努めます。
4. 当社は従業員に対し環境方針の周知と意識向上の為に環境教育及び広報活動を積極的に推進します。
5. 本方針は社外からの要求に応じ開示します。

2 取組実績

| |
|--|
| ① 工場エリアの水銀灯(6台)を第二期としてLED照明に切り替え(832kwh/月削減) |
| ② 工場エリアのエアコン(4台)を最新の省エネタイプに更新(758kwh/月削減) |
| ③ 前年同様に、よしずの設置による夏季の電力削減を実施した。また、昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯及び非使用機械の電源OFFを徹底した。 |
| ④ エアコン室外機18台によしずを設置して直射日光を遮断し、電力削減を図った。 |
| ⑤ 製品の製造工程内不良の低減を進め、電力及び使用材料等の資源の削減を図った。 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 丸政商事株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋保夫 | | |
| 190461 | 所在地 | 渋川市 金井303番地1 | | |
| | 事業内容 | 一般・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

【基本理念】

丸政商事株式会社は、当社の業務である廃棄物収集運搬業および中間処理業を通して、環境に配慮しながら地球環境の保全と継続的な改善に努め、社会貢献を目指した企業活動を推進する。

【環境活動基本方針】

当社は基本理念の実現に向けて以下のことを基本方針とします。

- (1) 収集・運搬車両のエコドライブを実践し、排気ガスの抑制に取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
- (2) 事業所での電気使用量・水使用量の削減に取り組み、同時に事業所での廃棄物排出量の削減に努めます。
- (3) 廃棄物排出事業者への情報提供や分別の指導に取り組みます。
- (4) 作業の安全に心掛け、近隣、地域の環境保全、並びに場内(中間処理活動)の環境衛生のために最善の努力をします。
- (5) 当社の関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
- (6) 資源、エネルギーの有限性を深く認識し、省エネルギー・省資源及び廃棄物の削減に努める。
- (7) 事業活動での使用物品・事務用品のグリーン購入の推進に努めます。
- (8) 本環境方針達成のため、環境目的・目標を設定し、定期的に見直す。この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

2 取組実績

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社藤生製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 藤生雅彦 | | |
| 190462 | 所在地 | 前橋市 鳥羽町126 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品及び精密機械部品製造業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 50,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 87 人 | |

1 環境基本方針

〈基本理念〉

(株)藤生製作所は、社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重要課題の一つに位置付け、事業活動の全領域で環境保全に配慮し、行動することにより、住み良い環境の実現と次世代への継承に貢献します。

〈行動指針〉

我々は環境問題への取組みの重要性を認識し、積極的に行動する。

- (1) (株)藤生製作所の全ての領域において、省エネの推進、廃棄物減量化の推進等、環境保全の維持、向上に努める。
- (2) 環境改善目標を設定し、その実現を図り、環境マネジメントの継続的改善と環境汚染の予防を図る。
- (3) 全ての社員が基本的な考えを理解し、行動出来るよう社員教育を実施し、周知徹底を図る。
- (4) 環境関連の法律、条例等を遵守し、さらに自主的基準を定めて一層の環境保全に取り組む。
- (5) 環境経営の組織・運営制度を整備し、責任所在の明確化を図る。
- (6) 環境管理の実施状況は必要に応じて公開する。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| ① デマンドコントローラーによる目標ピーク電力の維持 |
| ② 冷暖房機運転温度、時間ルール of 遵守 |
| ③ 加工設備のON、OFFをこまめに |
| ④ 夏季、冬季は夫々ウォームビズ、クールビズに心掛ける |
| ⑤ トイレ排水量絞り、手洗い時の節水呼びかけ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 安全基材株式会社 本社工場 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 細野邦夫 | | |
| 190463 | 所在地 | 高崎市 剣崎町94-5 | | |
| | 事業内容 | ガラス繊維製品製造販売 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 25 人 | |

1 環境基本方針

温室効果ガスの排出を削減する為に、「環境マネジメントシステム」P.D.C.Aを構築運用して、地球温暖化防止に配慮した事業活動を、推進していく。
1.全社員が、一丸となり温室効果ガス排出削減に努める。
2.産業廃棄物の排出量減量に努める。

2 取組実績

| |
|------------|
| ① 必要外の消灯 |
| ② 冷暖房の適温設定 |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|--------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社五十嵐研磨工業 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 五十嵐周季 | | |
| 190464 | 所在地 | 高崎市 島野町1158-1 | | |
| | 事業内容 | 金属研磨業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 500 千円 | |
| | | 従業員数 | 9 人 | |

1 環境基本方針

資源は有限。努力、アイデアは無限！

2 取組実績

① 節電…従業員の意識向上

② 産廃(汚泥)…薬品添加量の削減

③

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | スダテック株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 須田福次 | | |
| 190465 | 所在地 | 伊勢崎市 寿町101 | | |
| | 事業内容 | 金型、試作品(自動車部品他) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 19 人 | |

1 環境基本方針

温暖化に向けて継続的に省エネ、省資源に取り組む

2 取組実績

| |
|-----------------|
| ① 感知センサーさらに取り付け |
| ② LED照明の導入 |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 公益財団法人群馬県環境検査事業団本所 | | |
| | 代表者氏名 | 理事長 小川清 | | |
| 190466 | 所在地 | 前橋市 大手町3-9-16 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 4,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 21 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

- ① 冷暖房の控えめ設定(冷房28℃、暖房20℃)を徹底する。
- ② 昼休みの消灯、パソコンの電源オフ、非使用場所の消灯を徹底する
- ③ エアコンのフィルター掃除をまめに行う
- ④ サーキュレーター、仕切り板等を活用し、エアコンの効きをよくする
- ⑤ 両面コピー・両面印刷・印刷ミスをなくす事を徹底する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 公益財団法人群馬県環境検査事業団中部支所 | | |
| | 代表者氏名 | 事業部長 田代秀幸 | | |
| 190467 | 所在地 | 前橋市 大手町3-9-16 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 4,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 8 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

① 両面コピー・両面印刷・印刷ミスをなくす事を徹底する。

② 必要な場所に限り冷暖房を行い、控えめ設定(冷房28℃、暖房20℃)を徹底する。室内温度管理に努める。

③ 昼休みの消灯、パソコンの電源オフ、非使用場所の電気機器消灯を徹底する。

④ 使用する科学物質の適正な管理に努める。

⑤ ビン、缶、紙類等の分別排出を徹底する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 公益財団法人群馬県環境検査事業団東毛支所 | | |
| | 代表者氏名 | 事業部長 石田清宏 | | |
| 190468 | 所在地 | 太田市 大原町2433-8 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 4,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 12 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

- ① 冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房20℃)の徹底。
- ② 昼休みの消灯、使用していない電気機器の電源オフ等の節電の徹底。
- ③ 両面コピー、両面印刷の徹底。
- ④ ビン、缶、紙類の分別排出の徹底。
- ⑤ エコドライブを推進し、燃料消費量の削減に努める。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 公益財団法人群馬県環境検査事業団西毛支所 | | |
| | 代表者氏名 | 事業部長 真下英次 | | |
| 190469 | 所在地 | 高崎市 八千代町3-17-20 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 4,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 8 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

- ① 冷暖房の控えめ設定(冷房27℃、暖房21℃)に努める。
- ② エコドライブの推進体制の強化を図り、燃料消費量の削減に努める。
- ③ コピー用紙の両面印刷、裏紙使用を徹底する。
- ④ 昼休みの消灯、パソコン等の電源オフ、非使用場所・電気機器の消灯を徹底する。
- ⑤ ビン、缶、紙類の分別排出を徹底する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 公益財団法人群馬県環境検査事業団北毛支所 | | |
| | 代表者氏名 | 事業部長 柳岡幹雄 | | |
| 190470 | 所在地 | 渋川市 金井1251-1 | | |
| | 事業内容 | 浄化槽法に基づく法定検査業務 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 4,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

浄化槽法に基づく検査事業及び浄化槽に関する調査研究等を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与するという法人設立の目的をふまえ、次の環境基本方針のもとに、職員全員が環境保全に対する自覚を持ち、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を行い、循環型社会の形成に貢献することを目指します。

- 1 温室効果ガスの排出が少ない事業活動に努め、環境負荷の低減に努める。
- 2 全職員の環境保全に対する意識を深めるため、環境教育の充実に努める。
- 3 地域の環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との交流に努める。

2 取組実績

- ① エアコンの使用量の大幅削減。
- ② 昼休みなどの照明消灯、パソコンの電源オフの徹底。
- ③ ゴミの分別徹底。
- ④ ゴミの総量削減。
- ⑤ エコドライブの意識向上。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 東京冷機工業株式会社北関東営業所 | | |
| | 代表者氏名 | 金子信雄 | | |
| 190471 | 所在地 | 前橋市 元総社町151-15 | | |
| | 事業内容 | 空調設備設計施工保守メンテナンス | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 190,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 23 人 | |

1 環境基本方針

オゾン層の破壊問題及び温暖化問題が、世界共通の問題である事を認識し、以下の環境方針に沿って各社員が自覚を持ち、環境対策に応じた行動を実践する。

- 1.社員全てが、フロン取扱い業者として自覚を持って行動する。
- 2.廃棄物の発生を減少させる様、分別化に全員で取り組む。
- 3.社内研修を通じ、環境への理解を深める。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| ① 空調温度設定(冷房時28℃/暖房時20℃) |
| ② 気温が上記以上になった時に、空調機を使用する |
| ③ 社内照明を必要箇所のみ点灯し、他の場所は、消灯を行なう |
| ④ 昼休みのアイドリングストップ実施 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 鵜川興業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋秀一 | | |
| 190472 | 所在地 | 前橋市 六供町705 | | |
| | 事業内容 | 建設業(建設・土木・舗装) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 2,500 千円 | |
| | | 従業員数 | 52 人 | |

1 環境基本方針

《環境理念》

私たちは、環境保全が経営の重要課題であることを認識して、経営環境システムを構築・運用して継続的改善に努め、持続可能な社会づくりを目指します。

《活動方針》

建築・土木・舗装工事の総合建設業と、コンクリート・アスファルトの中間処理業、これらの事業活動が社会に与える環境負荷について、全従業員が下記の事項に基づき継続的に環境負荷の削減に努める取組みを致します。

1.3R運動を推進します。

Reduce リデュース（発生抑制）ごみを作らない

Reuse リユース（再使用）繰り返し使う

Recycle リサイクル（再利用）再資源化してごみを減らす

2.環境目標を定め定期的に見直し継続的改善をします。

3.環境関連法規制等を遵守します。

2 取組実績

① 空調温度適正化・表示確認

② 照明・PC電源不要時のOFFの推進

③ エアコン清掃の実施

④ エコドライブ推進

⑤ 車の点検・整備

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社サンレジ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 諸田康彦 | | |
| 190473 | 所在地 | 榛東村 新井526-1 | | |
| | 事業内容 | プラスチック成形加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 35 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するためにの社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)
- ② 休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底
- ③ 工場内の蛍光灯を2灯用から1灯用に変更
- ④ 外壁にヨシズ等を付け温度上昇を防ぐ
- ⑤ 射出形成機を省エネタイプに入れ替え

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 開発技術株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 森末廣 | | |
| 190474 | 所在地 | 前橋市 元総社町947-11 | | |
| | 事業内容 | 建設・補償コンサルタント、測量・各種調査 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制に努める
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める

2 取組実績

| |
|-------------------------|
| ① 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃) |
| ② 昼休み時の消灯、未使用場所の消灯の徹底 |
| ③ 両面コピーの徹底 |
| ④ 使用済み用紙の裏面利用の徹底 |
| ⑤ 使い捨て製品の購入、使用を抑制 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 烏川流域森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 石井清一 | | |
| 190476 | 所在地 | 高崎市 倉渕町三ノ倉303 | | |
| | 事業内容 | 林業(森林の造成・整備および管理事業) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 51,973 千円 | |
| | | 従業員数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

烏川流域森林組合は、地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、役職員一人一人が自覚をもって、日常事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための組合内部体制の整備に努める。
2. 全ての役職員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
3. 温室効果ガスの排出量を最小限に抑制するために、可能性のあるあらゆる方策を推進する。
4. 事業用諸資材についても、可能な限り環境配慮製品の利用に努める。

2 取組実績

- ① 空調(冷暖房)の使用については極力使用を控えた。
- ② 休憩時間中の消灯及びパソコン等の電源OFF、非使用場所を最小限の点灯に努めた。
- ③ 両面コピーの徹底に努めた。
- ④ エコドライブの推進、車両の効率的使用、車両ごとの燃費管理に努めた。
- ⑤ 事務用品・オイル等エコ製品利用の推進に努めた。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社阿左美建設工業 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 阿左美勝二 | | |
| 190477 | 所在地 | みどり市 大間々町大間々551-1 | | |
| | 事業内容 | 総合建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 10 人 | |

1 環境基本方針

事業活動を行うことが、環境へ重大な影響を与えることを認識するとともに、持続可能な経済社会を形成することが不可欠と確信しています。そこで、社員一人一人が問題意識を持って行動し、地球環境の保全及び地域社会への貢献を目指すべく、環境に配慮した行動を実践します。

- 1.事業活動に伴って発生する副産物の抑制とリサイクルの推進に努めます。
- 2.全社員が環境へ配慮した事業活動に取り組むよう努めます。
- 3.地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境の保全に努めます。

2 取組実績

- ① 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)の徹底
- ② 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底
- ③ 電化製品の未使用時のコンセントを抜く
- ④ 工場現場で発生する副産物の抑制とリサイクルの推進。
- ⑤ 使い捨て製品の購入を制御

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|--------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社 木間製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 木間康市 | | |
| 190478 | 所在地 | 太田市 山之神町50-40 | | |
| | 事業内容 | 二輪車・自動車部品製造業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 800 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

環境法令を遵守し、基本方針を掲げ地球環境に配慮した事業活動を行います。

- 1.地球環境に与える影響から電気使用量の削減、廃棄物の適正処理・削減・リサイクル、水使用量の削減、環境に配慮したグリーン購入の推進を目標に改善活動を行います。
- 2.環境保全活動を推進するにあたり、環境目標を策定し取り組みます。
- 3.環境方針は全従業員に周知するとともに環境教育を行い、従業員の環境に関する意識の向上に努めます。

2 取組実績

| |
|-----------------------------|
| ① 空調温度の適正化(冷房28℃程度、暖房20℃程度) |
| ② 不要な照明のOFFの徹底 |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 メーカー | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 成瀬義雄 | |
| 190481 | 所在地 | 伊勢崎市 長沼町241 | |
| | 事業内容 | 自動車部品の製造・組み立て、精密板金加工、医療用自動検液機的设计・製造、プラスチック容器の検査ほか | |
| | 事業規模 | 資本金 | 50,000 千円 |
| | | 従業員数 | 230 人 |

1 環境基本方針

- 1、当社は環境側面を常に意識し、環境汚染の予防を推進し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 2、当社は、環境関連法規、規制、自主基準、及び当社が同意するその他の要求事項について順守する。
- 3、当社は、当社のかかわる環境側面のうち、以下の項目を活動のテーマとする。
 - ①地球温暖化防止のため、省エネルギー化を推進する。
 - ②資源の有効活用を推進する。
 - ③作業時の物理的環境リスクを低減させる。

2 取組実績

- ① エアコン温度管理の徹底、稼働台数の削減。
- ② 不要照明の消灯。
- ③ コンプレッサー稼働台数を必要最小限にする。
- ④ 分別廃棄によるリサイクル化の推進。
- ⑤ エコドライブを推進し、ガソリン使用量を削減する

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|--------------------------|----------|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 小暮商店 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小暮雅丈 | |
| 190482 | 所在地 | 館林市 近藤町2 | |
| | 事業内容 | サッシ、シャッタ、ガラス、エクステリア組立、取付 | |
| | 事業規模 | 資本金 | 1,000 千円 |
| | | 従業員数 | 12 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- ① 社内の使用されていないところの電気を極力節電する。
- ② 車両のアイドリングをさけ、極力環境にやさしい運転をする。
- ③ 冷暖房の温度に注意して冷えすぎ、暖めすぎに気をつける。
- ④ 紙の印刷を極力さけ、用紙、インクの削減に努める。

2 取組実績

| |
|----------------|
| ① 一部LEDに変更 |
| ② 不必要な所は、極力消灯 |
| ③ 空調温度の管理 |
| ④ 営業車をエコ車に入れ替え |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 フジモク | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 藤井昭宏 | | |
| 190484 | 所在地 | 沼田市 大釜町327 | | |
| | 事業内容 | 産業廃棄物処分量 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 6,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 34 人 | |

1 環境基本方針

(経営理念)

株式会社フジモク(以下当社という)は、「産業廃棄物からの資源化」事業を通し事業者から排出される廃棄物(建廃、木くず、プラスチックシート)を1kgでも多く再資源化し、循環型社会をめざした活動を推進する。

(環境方針)

私たちは『経営理念』に基づき、全従業員が以下の方針に従い環境保全活動を積極的に推進致します。

(1)環境との関わりに関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項(地域・近隣との協定、業界の行動規範等)を順守し、環境保全の向上を図ります。

(2)事業活動において、環境との関わりを常に意識し、経済的、技術的に可能な環境目的・目標を設定し、環境経営の継続的改善を推進します。

(3)事業活動が与える環境影響の中で、以下の項目を環境管理重点テーマとして、環境汚染の予防に対して以下のように取り組む。

①全ての業務においてエネルギーの効率的利用を図り、省エネルギーの継続的推進。

②「建設廃材」「木くず」「廃プラスチック」等の再資源化活動の推進。

③事務所内で使用するオフィス用紙等紙類の使用量削減活動の推進。

(4)この環境管理重点テーマを達成するために、環境目的・目標を具体的に定め、これを達成するための「実施計画」を運用し、環境管理を推進します。

(5)環境方針は文書化し、全従業員に周知徹底し、一般の人にも公開します。

2 取組実績

① エネルギー使用量:全エネルギー(電気、軽油、ガソリン、重油、灯油)とも設備更新が無いため、運用テクニックでの削減活動を実施、従業員全員の試行錯誤の中、従業員各人の努力はあったが、電気、軽油、ガソリン等が大幅に増えた。

② 廃棄物排出量:廃プラについては、顧客先で残渣が0.5%以内に成る事を目標として、今年度も分別活動を継続。従業員のリタイヤ、チップ製造作業の多忙により、目標通りとはいかないが、かろうじて前年量をクリアした。

③ 再資源化によるCO2排出削減効果:①業務(廃木のチップ化、ガラ/瓦礫の粉碎化、金属屑の分別化等)のリサイクル化がCO2削減にどれくらい寄与しているかを評価するとともに、分別意識、認識を従業員に徹底させるために活動。②絶対量の入荷が少なく、目標未達となった、次年度も仕事の確保は可能と思われるので、今年度の反省を踏まえる活動を実施。営業部1人増員。

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|--------------------|------------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 日本精密測器株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 浦秀樹 | | |
| 190486 | 所 在 地 | 渋川市 中郷2508-13 | | |
| | 事 業 内 容 | 医療機器・光学機器の開発・製造・販売 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 268,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 131 人 | |

1 環境基本方針

事業活動に伴い発生する環境汚染を十分に認識し、環境面の目的・目標を掲げ、環境保全対策、汚染予防を実行し、定期的な見直しを行い、環境保全の継続的向上を図る。

特に「①電気使用量の削減、②廃棄物の削減 ③環境規制物質の使用量削減」の3項目は、当社の重要課題と位置づけ、全力を尽くす。

地域と自然に対し、調和と融和を図る企業活動に配慮すると共に、適切な環境管理を行う。

2 取組実績

- | |
|---|
| ① 電気の使用量が昨年度比で6%減少した。売上げは2.3%増加しているのを含めて全社節電管理の徹底により減少した。 |
| ② 昨年同様クールビズ、ウォームビズを実施、夏場はエアコン設定温度を上げる、冬場はエアコン設定温度を下げる等により負荷の軽減を図った。 |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 蔵前産業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 松下信一 | | |
| 190487 | 所在地 | 前橋市 上大島町176-44 | | |
| | 事業内容 | 医用機器部品、半導体装置部品、各種金型等製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 48,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 22 人 | |

1 環境基本方針

1.環境関連の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守するとともに、可能な範囲で自主管理基準を設けて環境管理の向上に努めます。
2.環境マネジメントシステムを構築し技術的、経済的に可能な範囲で環境目的、環境目標を定めて継続的に改善を行うとともに、環境に対する汚染を予防します。特に、
・省資源、省エネルギー、リサイクルを推進します。
・環境汚染物質及び廃棄物の削減に努めます。
・環境にやさしい事業活動を行うよう配慮します。
3.必要な場合は、地域社会と連携して環境保全活動を展開します。

2 取組実績

- ① ISO14001再認証審査を受審し、改めて認証される。
- ② 環境マネジメントレビューでの実績確認で環境意識向上に役立っている。
- ③ 鉄くずや廃パレット、廃紙のリサイクルを促進し、廃棄物を削減した。
- ④ 節電や冷暖房の使用抑制する等生産工程外での省エネ意識は定着している。
- ⑤ 定期的実施する安全・環境パトロールは環境保全意識向上に役立っている

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 松村機械製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 根岸澄子 | | |
| 190488 | 所在地 | 太田市 新田小金井町278-1 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 38 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題に注目しCO2を削減することを基本方針として社員一人一人が認識して事業活動にあたり、環境に考慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる活動を推進する社内体制の整備
- 2.社員が環境問題に対する理解を深める、環境教育の充実を図る
- 3.今後もCO2を排出しない風力発電の改良、開発及び販売を強化し普及に努める

2 取組実績

- ① 非稼働日の設定に伴い、電気炉(ブタン・電力)稼働率向上
- ② 長期休暇時の設備機器への節電(ブレーカー)を非稼働日にも実施
- ③ シュレッダー活用による紙類の緩衝材化
- ④
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社 五月女鉄工 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 吉田修次 | | |
| 190489 | 所在地 | 邑楽町 中野2310 | | |
| | 事業内容 | 治具・金型、専用機的设计・製作 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

従業員一人一人が地球温暖化防止に対し、日常業務を通じCO2の排出量の削減に、積極的に取り組みます。

- 1.温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社会システムの整備
- 2.環境に対する理解を深めるための従業員への環境教育を行う
- 3.温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努める

2 取組実績

① デマンドシステムにて現在のピーク電力を確認しエアコン、機械の運転をコントロールする

② 工場天井灯を水銀灯(400W中心)41灯からLED灯(100W中心)に変更

③ エアコンの徹底したオフ(冷房28°C/暖房20°C)

④ 事務所の天井蛍光灯をLED灯に変更

⑤ ゴーヤの緑のカーテンにて事務所窓側の侵入熱遮断

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社 川島精機 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 川島靖 | | |
| 190490 | 所在地 | 邑楽町 中野2643 | | |
| | 事業内容 | 自動車部品の機械加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 7 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に対し、その根源であるCO2の排出量の削減に従業員一体となり、積極的に取り組みます。

- 1.温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内体制の整備
- 2.従業員の環境に対する理解を深めるための環境教育を行う
- 3.温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努める

2 取組実績

- ① エアコンの管理(冷房28°C/暖房20°C)
- ② 不必要時、不必要場所の機械・照明のオフ
- ③ 朝顔・ゴーヤの緑のカーテン
- ④ 工場・倉庫の水銀灯(8灯)のLED化実施(H26年1月)
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社 大友 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 大野光範 | | |
| 190491 | 所在地 | 邑楽町 中野702 | | |
| | 事業内容 | 縫製業(オリジナルエプロンの設計・製造) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 10 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止へ向け、CO2の排出量の削減に、全社一体となり、積極的に取り組んでまいります。

- 1.温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内体制の構築
- 2.従業員の環境に対する理解を深めるための環境教育を行う
- 3.温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努める

2 取組実績

- | |
|-----------------------|
| ① 不必要時の機械・設備の運転停止 |
| ② エコドライブの推進、物流の経路の効率化 |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社 橋本商事 | | |
| | 代表者氏名 | 橋本茂 | | |
| 190492 | 所在地 | 邑楽町 中野3081 | | |
| | 事業内容 | 自動車、電気のパイプ部品の加工、組立 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 27 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を鑑み、その根源であるCO2の排出量の削減に企業、従業員一体となり、積極的に取り組みます。

1. 温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内体制を構築します
2. 環境に対する理解を深めるための従業員環境教育を行います
3. 温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努めます

2 取組実績

① エアコンの徹底したオフ(冷房28°C/暖房20°C)

② 不必要時、不必要場所の機械・照明のオフ

③ 朝顔・ゴーヤの緑のカーテン

④ デマンドコントロールの活用

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 エルグ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 桐原正明 | | |
| 190494 | 所在地 | 富岡市 宇田250-6 | | |
| | 事業内容 | 金属製品製造業(めっき業) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 66 人 | |

1 環境基本方針

環境方針～Harmony with the Earth for Future

私たちは、地球環境の重要性を認識し、資源の有効活用と環境負荷の軽減に努めます。また、環境と調和した活動を続け、次の世代へ伝えていきます。

環境保全活動～Environmental coservation activities

1.当社は、環境汚染を防止するため、事業活動によって環境に与える影響を的確に捉え、関連する環境の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、自主的改善目標を立案し、継続的に環境保全に取り組みます。

2.環境マネジメントシステムについて環境内部監査を実施し、自主管理によるシステムの継続的な改善を推進します。

3.事業活動に伴い、環境に著しい影響を与える可能性のある下記事項に関して継続的減量化・リサイクル及び管理強化に積極的に取り組み、環境目標の設定、実行及び見直しの実施に全ての社員が参加します。

(1)化石燃料・エネルギー (2)廃棄物(スラッジ) (3)水 (4)紙

(5)化学物質 (6)グリーン購入 (7)温室効果ガス

4.防犯、安全衛生対策を万全にし、定常時、非定常時、緊急時のいずれの場合も環境に与える負荷が、最小限になるように汚染の予防に努め、経済的に可能な限り予防措置及び対応方法を定め、訓練を実行します

5.環境改善を実行し維持するための環境教育を、全ての社員及び当社の為に働く全ての人に実施し環境方針の理解と環境に関する意識向上を推進します。

6.高田川に隣接した立地条件を認識し、水と自然を大切にす活動を通し、地域住民とコミュニケーションを図り地域社会に貢献します。

7.この方針は、社内外に公開します。

2 取組実績

① もったいない活動推進による社員の意識改革

② 待機電力の削減

③ 廃熱利用によるガス使用量削減

④ 包装材のリユース推進

⑤ 社有車のエコドライブ推進・走行効率化による使用燃料削減

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 多野東部森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 新井和子 | | |
| 190495 | 所在地 | 藤岡市 藤岡3117-1 | | |
| | 事業内容 | 林業指導その他 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 42,552 千円 | |
| | | 従業員数 | 26 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に向け、次の基本方針の則し、事業活動のあらゆる面において職員一人一人が自覚を持って環境に配慮した行動を実践する。

- 1.全ての職員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
- 2.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための体制整備に努める。

2 取組実績

- ① 不要な照明の消灯
- ② コピー用紙の節減・再利用
- ③ 空調温度の適正化
- ④ ゴミの分別回収の徹底
- ⑤ エコドライブの実施

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 南牧村森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 小金澤秀喜 | | |
| 190496 | 所在地 | 南牧村 大字小沢1304 | | |
| | 事業内容 | 林業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 27,944 千円 | |
| | | 従業員数 | 11 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に一翼を担う作業に携わっていることを自負し、作業にかかる細部から環境に配慮した行動を実践する。

2 取組実績

① 空調管理の適正化(加湿器導入)

② 資源ごみ回収が徹底された。

③ 所内の用紙は使用済の裏面を再利用して資源の無駄を省いた。

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 小林産業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小林賢一 | | |
| 190499 | 所在地 | みなかみ町 羽場826 | | |
| | 事業内容 | 製材業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 23,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 8 人 | |

1 環境基本方針

世界中で地球温暖化問題が叫ばれはじめ、個人としても考えるようになったと思いますので、職場においても小さなこと一つの積み重ねで環境をよくし、社会に貢献したいと思います。

- 1.作業場は常に整理整頓に心がける
- 2.作業服に着いた粉塵などはエアールではらい清潔感を保つ

2 取組実績

① 事務所内の冷暖房・照明の消し忘れをしない。

② 事務用品は自覚を持って使い方を考える。

③ 事務所・工場・休憩所の節電を心がける。

④ 会社のすべての場所において清潔さを保つ。

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 沼田エフエム放送株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 真下恭嗣 | | |
| 190501 | 所在地 | 沼田市 下之町888 グリーンベル21 5階 | | |
| | 事業内容 | コミュニティラジオ放送局(FM OZE) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 98,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が人類共通の問題であることを認識し、社員一人一人が環境意識を高め業務や日常生活において身近なことから環境取り組みを促進していく企業として意識啓発や活動促進を行う。

- 1.職場と家庭で実践できる取り組み内容を社内に掲示。
- 2.社員一人一人の二酸化炭素の排出抑制につながるアクションの促進。
- 3.放送業務をとおして地域の方々への地球温暖化防止の呼びかけの実践

2 取組実績

- ① 事務所空調温度適正化
- ② 空調設備の清掃
- ③ 未使用場所消灯
- ④ 外出時等パソコンの電源を切る
- ⑤ 省エネの呼びかけ

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社 椎坂建設 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小林好 | | |
| 190502 | 所在地 | 沼田市 利根町大原1523-2 | | |
| | 事業内容 | 一般建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 35 人 | |

1 環境基本方針

当社は環境との調和が社会の一員たる企業の重要な責務であることを認識し、環境の保全に則した生産活動と環境の保全に係わる技術の要求を通して、社会の持続ある前進への参加を目標に向かって事業に取り組みます。

2 取組実績

- | |
|--|
| ① 雨天用の作業場を増築した為、一ヶ月の作業日数が増えた。 |
| ② 去年の夏場の暑さで、エアコンの使用量が増大した。 |
| ③ 建物内の電球を全てKED電球に取り替えた。少しでも電気量の節約なれば良いと思い実行した。 |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|------|--|
| 認定番号 | 名称 | 特定非営利活動法人 里山の学校 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事 増島孝志 | | |
| 190503 | 所在地 | みなかみ町 須川774-1 | | |
| | 事業内容 | 木を利用した二次製品の製作 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 0 千円 | |
| | | 従業員数 | 5 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が現在の大きな社会問題であることを認識し、次の基本方針に則し、環境に配慮した事業活動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出削減を考慮した事業活動を推進するための社会体制の整備に努める。
2. 環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める
3. 温室効果ガスの排出量が少ない製品の製造・普及に努める

2 取組実績

| |
|-------------|
| ① ゴミの分別の徹底 |
| ② エコドライブの徹底 |
| ③ 温度調節の徹底 |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 萬屋建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 星野雅子 | | |
| 190506 | 所在地 | 沼田市 上原町1756-2 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 50,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 56 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 空調管理責任者の自覚。
- ② 空調温度を努力の設定。
- ③ 空調の使用時間の短縮。
- ④ 昼休みの消灯。
- ⑤ 非使用場所の消灯の徹底。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社ウエノテクニカ | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 松井真二 | | |
| 190508 | 所在地 | 桐生市 広沢町5-1311 | | |
| | 事業内容 | 自動車製造設備の設計及び製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 96,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 121 人 | |

1 環境基本方針

私たちは、世界に誇る自動車生産設備を提供する企業として、車体を主体とした溶接、組立設備を製造する専門企業活動を通じ、地球温暖化問題を重要課題と認識し、環境負荷を最小限にとどめ、汚染の予防に努めるために、事業計画のあらゆる面で環境に配慮した行動を実践します。

- 社内コミュニケーションのあらゆる手段を通じて全社員に理解されるよう周知徹底を行う。
- リサイクル、省エネルギー、省資源に努めます。

2 取組実績

- ① 工場照明の水銀灯からLED化:21%実施。(112個中23個をLED化)
- ② 不要な電灯の消灯活動の実施。
- ③ 昼休み休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の実施。
- ④ 大型連休時、パソコンのコードを抜く。(待機電力の削減)
- ⑤ 外部審査による「ISO14001維持審査の実施。」

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------------|------------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社アーク | | |
| | 代表者氏名 | 尾高清文 | | |
| 190509 | 所在地 | 富岡市 上丹生165-3 | | |
| | 事業内容 | 鉄、ステンレス鋼材の製品加工及び製品セッティング | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 100,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 29 人 | |

1 環境基本方針

(環境理念)

私たちは、未来に向けて素晴らしい地球環境を引き継いでいかねばなりません。

環境保護活動は、我々人間の使命であり、事業活動においても重要なテーマと捉えています。

私たちは、地球環境保全に自ら責任を持ち、誠実に取り組んでいきます。

(環境方針)

1. 私たちは、鉄・非鉄金属などの限りある資源を使用し、製品の設計製造業務を通じて循環型社会の形成に努めていきます。

私たちは、事業活動を通じて環境負荷を少なくする為に目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努め、社会的責任を果たしていきます。

2. 関連する環境法規制及び当社の同意するその他の要求事項を順守します。

3. 環境に与える影響を低減する為に次の事項に対して積極的に取り組みます。

①加工工程で発生する端材の再使用を促進し、省資源化を進めます。

②事業活動の中で発生する廃棄物の削減、リサイクルに努めます。

③事業活動の中で使用する電力等の省エネ活動に努めます。

4. 地域社会での環境保全活動に参画し、社会貢献をしていきます。

5. この環境方針は、全従業員に周知し、社内に掲示すると共に一般に公開します。

2 取組実績

① 機械加工の効率化

② 製造設備の省エネ(未使用時電源OFF・日常点検・不良率低減)

③ ソーラーパネル設置、電力使用量の省エネ化

④ 使用済み用紙の裏面を利用する

⑤ OA機器類の省エネ(日常点検の実施)

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社丸橋製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 丸橋幹 | | |
| 190510 | 所在地 | 伊勢崎市 柳原町61 | | |
| | 事業内容 | 電気機器部品製造 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 47 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するために社内体制を整備する。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 空調は必要な場所、時間に限って行う
- ② 昼休みの消灯、非使用場所の消灯を徹底する
- ③ 使用済みのコピー用紙を使用する
- ④ 電子情報利用によるペーパーレス化を推進する
- ⑤ 会議資料の簡素化

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社新井土木 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 新井正則 | | |
| 190511 | 所在地 | みどり市 東町萩原140 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,800 千円 | |
| | | 従業員数 | 16 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、次の基本方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 蛍光灯を交換する際は、高効率蛍光灯を使用する。
- ② 事務所内の空調温度の適正化に努める(冷房28℃、暖房20℃)
- ③ 昼休みの消灯の徹底化。
- ④ 事務所内の出勤していない部署の消灯。
- ⑤ 冬期の暖気運転は最低限にする。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社山藤組 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 山藤浩一 | | |
| 190512 | 所在地 | 桐生市 黒保根町水沼乙53 | | |
| | 事業内容 | 土木・建築物の施工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 50,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 31 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化の防止についての対策が我が国の緊急の課題である点について社内でも一致した自覚の基に、当社の事業活動の中で環境の改善に結びつくべく社員全員で下記基本方針により活動する。

1. 全社員で環境問題を自覚し、環境に配慮した行動を行う。
2. 当社の事業活動により発生する副産物のリサイクルを推進する。
3. 各種団体の環境対策事業に積極的に参加する。

2 取組実績

- ① 昼食時及び昼休み時の全社内消灯の徹底による消費電力の削減
- ② 帰社時の際の各自の場所の電気の消灯による消費電力の節電
- ③ 残業時間の削減の推進等により消費電力の節電
- ④ 座席を5分以上離れる場合の社内の電気の消灯及びパソコンの電源を落とす。
- ⑤ 車両の無駄なアイドリング等を注意喚起することの実施による燃費向上の徹底

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 大川建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大川弘志 | | |
| 190513 | 所在地 | 桐生市 新里町小林47 | | |
| | 事業内容 | 総合建設業(土木・建築) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 23,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

〔基本理念〕

大川建設株式会社は、事業活動を通して、限りある資源を有効に活用し環境負荷の低減を計り、社員一丸となり環境の保全のため、継続的改善に努める。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組む。

1. 当社の建設工事において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努める。

① 二酸化炭素化移出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料を削減する。

② 重機・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する、。

③ 廃棄物の発生と再資源化への積極的な取組みを行う。

④ 限りある水は、使用量を削減する。

⑤ グリーン購入を推進する。

2. 環境活動の継続的改善を推進するため、環境目標・環境活動計画を策定し取組み、策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直す。

3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守する。

4. 環境方針は全社員に周知し、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図る。

5. 環境管理のに関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図る。

2 取組実績

① 休憩時間の消灯、非使用場所の消灯の徹底。

② 冷暖房温度の設定。(ブラインドの有効利用)

③ アイドリングストップの徹底。

④ 通勤車両の小型化。

⑤ 相乗りによる現場への通勤。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 桐生広域森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 遠藤定央 | | |
| 190514 | 所在地 | 桐生市 相生町3-560-5 | | |
| | 事業内容 | 森林施業(植林、下刈り、間伐、伐採等) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 25,482 千円 | |
| | | 従業員数 | 18 人 | |

1 環境基本方針

地域の森林を整備する中核的な担い手として、森林整備や管理に関する事業を適正かつ効率的に行い、組合員だけでなく、地域からも信頼される組織となるよう、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

1. 温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
2. すべての職員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

- ① 昼休み、休憩時間の消灯、非使用場所の消灯を徹底する
- ② ブラインドやよしずの設置など遮熱対策により夏期空調負荷を軽減する
- ③ 空調温度の適正化(冷房30℃、暖房20℃)に努める
- ④ 使い捨て製品の購入を抑制する
- ⑤ 両面コピーを徹底する

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社タイヨー | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 川合義一 | | |
| 190515 | 所在地 | みどり市 大間々町浅原1458 | | |
| | 事業内容 | 金属部品加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 50 人 | |

1 環境基本方針

周辺住民との共存、共栄を計るために、職場環境の整理、5Sの徹底を計り、公害を防止する。

2 取組実績

① 受注低下(不況)による、稼働率の低下による。

②

③

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社北村土木 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 北村隆 | | |
| 190516 | 所在地 | 桐生市 相生町2-85-2 | | |
| | 事業内容 | 土木・建築物の施工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 40,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 11 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題等の環境悪化が地球規模での広がりを見せる昨今、この問題の重要性を認識し社員一丸となり環境に配慮した行動を実践する。

1. 「限りある資源」を認識し、資源の無駄遣いはしない。
2. 当社の事業活動により発生する建設副産物の再資源化を徹底する。
3. 社員全員にこの環境基本方針を周知徹底させ自ら何が出来るかを考えさせる。

2 取組実績

- ① 社内空調設備を替えた。
- ② 冬季の車の暖房運転を短くした。
- ③ 社内照明をLEDにした。
- ④ 使用していない電化製品のコンセントを抜いた。
- ⑤ 昼休み時間の消灯。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 増田建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 増田文明 | | |
| 190517 | 所在地 | みなかみ町 後閑84-3 | | |
| | 事業内容 | 建設業(土木工事・建設工事他19業種) | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 32 人 | |

1 環境基本方針

1.環境保全を継続的に推進するため、環境マネジメントシステムを構築・運用して汚染の予防を図る。
2.環境に関する法律・規制並びに業界からの要求事項等を遵守する。
3.環境保全活動では、次の事項を重点項目として環境の目的・目標を定めて実行する。
 (1)業務改善によって潜在的環境影響を低減する。
 (2)産業廃棄物の再利用と分別の強化。
 (3)振動・騒音による苦情の皆無
 (4)環境問題に配慮した住宅の供給及び促進
4.この環境方針を周知するため、全従業員及び協力会社への教育を行い、意識の向上を図る。

2 取組実績

| |
|--------------------------------|
| ① 本社事務所内のエアコン使用時の温度設定(夏期28℃以上) |
| ② 昼休み及び在席以外の消灯 |
| ③ OA機器の省エネモードの実施 |
| ④ 外部看板照明の消灯 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 片品村森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 高山國利 | | |
| 190518 | 所在地 | 片品村 鎌田3967 | | |
| | 事業内容 | 森林造成 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 4,835 千円 | |
| | | 従業員数 | 2 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、組合員、役職員ともども、事業活動のあらゆる面で環境問題に対する理解を深め、行動できるよう環境教育の充実に努める。

2 取組実績

① 暖房温度を低くした。

② 室内照明数を減らした。

③

④

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 富士木材工業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 松井信一 | | |
| 190522 | 所在地 | 沼田市 恩田町600-1 | | |
| | 事業内容 | 木材、製材業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 1,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

富士木材工業株式会社は、地球温暖化問題への対応は喫緊の問題であることを認識し事業活動において社員一人一人が自覚をもって、環境に配慮した行動を実践するため、下記事項に取り組む。

1. 事務管理におけるエネルギー使用の効率化に努め、事業活動の推進と環境負荷軽減を両立させる。
2. すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。

2 取組実績

| |
|--------------------------------------|
| ① 休憩時間の消灯、非使用場所の消灯を徹底する |
| ② 長時間使用する場所の照明を省エネタイプに変更する |
| ③ 暖房時は加湿器や扇風機の兼用により快適さの維持と省エネ性向上に努める |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社吉田組 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 吉田栄佐 | | |
| 190523 | 所在地 | 桐生市 宮本町1-1-22 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 40,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 17 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化の防止についての対策が我が国も緊急の課題であるので、当社においてもその自覚の基に、事業活動の中で環境の改善に結びつくべく社員全員で下記方針により活動する。

- 1.社員全員で環境問題を自覚し、環境に配慮した行動を行う。
- 2.当社の事業活動により発生する副産物のリサイクルを推進する。
- 3.各種団体の環境対策事業に積極的に参加する。

2 取組実績

| |
|-------------------------------|
| ① 社内の空調の制限(夏期28℃、冬期20℃)に努めた。 |
| ② 社内の照明の電球をLEDにした。 |
| ③ 電子機器の不必要な電気をこまめに消灯することに努めた。 |
| ④ アイドリングストップを徹底する。 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 三山住建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 金子政春 | | |
| 190524 | 所在地 | 沼田市 井土上町123 | | |
| | 事業内容 | 木材卸売業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 1,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 2 人 | |

1 環境基本方針

主に広葉樹材の原木販売及び製材品販売を事業としています。環境に配慮した行動を実践する。

- 1.環境に関する勉強会等に参加し環境思想の向上をはかる
- 2.小さい事から実行する心がけ
- 3.物を大事に使用する

2 取組実績

- ① 照明の削減(1本蛍光灯を消す)
- ② パソコン画面の自動消し
- ③ 風の通りを良くする(エアコン使用率の低下)
- ④ 軽自動車の有効利用
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社関東トラベルサービス | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 山口剛 | | |
| 190525 | 所在地 | 高崎市 倉賀野町1056-5 | | |
| | 事業内容 | 旅行業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 3 人 | |

1 環境基本方針

社員一人一人が環境に配慮し、各々が省エネの自覚を持ち、地球温暖化対策に努めていきます。
取組内容記載事項を遵守し、エネルギー消費は最小限に、そしてゴミはなるべく出さない事を指針とし、徹底するよう努めます。

2 取組実績

① 両面コピーの徹底

② パソコン、印刷機、コピー等こまめに電源を切る

③ 自転車、徒歩の推奨

④ 社内リサイクル体制を整備する

⑤ ミスプリントを効果的に利用する

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社小板橋土建 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小板橋猛 | | |
| 190527 | 所在地 | 富岡市 妙義町下高田1032 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を認識し、社員一人一人が自覚をもって事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できる様、環境教育の充実に努める。
- 3.温室効果ガスの排出量が少ない製品の開発・普及に努める。

2 取組実績

- ① エコドライブの教育、実地指導、燃費の確認管理等。
- ② 空調管理の徹底。夏(遮光シート設置) 冬(断熱効果のシート設置)
- ③ 節電・節水の取組強化しました。
- ④ 社内のリサイクル体制を強化しました。
- ⑤ コピー用紙の再利用等。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 沼田土建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 青柳剛 | | |
| 190528 | 所在地 | 沼田市 西倉内町593 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 49,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 88 人 | |

1 環境基本方針

すべての社員が地球温暖化問題に強い意識を持ち、温室効果ガス排出削減活動を推進するための社内体制を作る。

2 取組実績

① LED蛍光灯への交換を更に推進する。

② クールビズ・ウォームビズ奨励による、冷暖房温度の緩和。

③ 18時以降は冷暖房を使用抑制とした。(早期退社の奨励)

④ 10時以降の暖房の使用抑制。(10時～15時は基本的に暖房を切る)

⑤ 扇風機、エアコン、加湿器等の併用

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 鈴木特殊土木株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 鈴木和也 | | |
| 190530 | 所在地 | 片品村 東小川1351 | | |
| | 事業内容 | 土木、とび・土工、舗装、水道施設事業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 2,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 17 人 | |

1 環境基本方針

鈴木特殊土木株式会社は、環境問題を認識し、更なる意識の向上を図る。
1. 節水。節電の徹底
2. 社内・現場等のリサイクル活動の強化

2 取組実績

| |
|--------------|
| ① 空調管理(適正温度) |
| ② 節電の取り組み強化 |
| ③ リサイクル紙等の使用 |
| ④ エコドライブの励行 |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 高和建设有限会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋紹郎 | | |
| 190531 | 所在地 | 昭和村 糸井262-1 | | |
| | 事業内容 | 土木、建築、造園業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 5,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が将来の子や孫の時代の生活環境を考え基本方針を作り一人一人が自分の出来る事を仕事を通じて環境に配慮した行動を行うものとする。

- ①社員一人が一つ以上の温室効果ガスの排出が削減できる事業活動を実行
- ②環境問題に危機感をもって取組む。「スローガン みんなで止めよう温暖化」
- ③家庭、職場での草、樹木等緑の復旧

2 取組実績

① エコドライブ教育の実施と車両別燃費管理を周知徹底する。

② グリーンカーテンを設置し室内温度の上昇抑制を図る

③ 空調管理の適正化(エアコンの適正温度の徹底、扇風機を併用する)

④ 梱包材の分別とリサイクル体制の周知を図る

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 神流川森林組合 | | |
| | 代表者氏名 | 代表理事組合長 宮前鍬十郎 | | |
| 190532 | 所 在 地 | 神流町 大字麻生92番地 | | |
| | 事 業 内 容 | 林業全般、製材業、道の駅 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 24,039 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 16 人 | |

1 環境基本方針

1. 基本方針

今世紀最大の課題である地球温暖化を防止する為、森林整備に全力を尽くしている。地球環境の保全に配慮する為、従業員は一丸となって日常の業務環境を見直すと共に、業務遂行上の留意点を定めて早急実践をする。

- 1) ムダ、ムラ、ムリをなくし、温室効果ガスの削減を目指した取り組みを実施
- 2) 使用資材については、省エネルギー、省資源(リサイクル、リユース、リデュース)による再生資源の有効利用
- 3) 環境問題への意識改革とその実施

2 取組実績

① こまめな電源オフによる、電気使用量の削減

② パソコンを短時間使用しない場合は電源オフせずにスリープ状態にしておく

③ 冷暖房の設定温度は、前年度より1～2度控えめにした

④ 換気扇の使用による室内空気の循環

⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|---------|--------------------------------|-----------|
| 認定番号 | 名 称 | サンワテック株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 新井明 | |
| 190533 | 所 在 地 | 太田市 新田大町650-1(新田北部第2工業団地内) | |
| | 事 業 内 容 | カーエアコン用コンプレッサーの電磁クラッチの開発・生産・販売 | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 10,000 千円 |
| | | 従 業 員 数 | 203 人 |

1 環境基本方針

1. 社内の全組織を軸に環境保全活動を推進する。
2. 企業活動の環境に及ぼす影響を正しく把握し、継続的改善及び汚染の予防に努め、技術的、経済的にとりうる範囲で環境目的・目標を定め活動する。
3. 環境に関する法律・規制・協定を遵守すると共に、その実現に必要な自主基準を制定し環境の管理を図る。
4. 工場・事務所施設・生活設備のエネルギー消費、資源効率を見直し、省エネルギー、省資源に努める。
5. 金属屑、プラスチック屑、汚泥などの産業廃棄物は歩留まりの向上、製造工程の改善を図り、発生総量の削減と適切な処理に努めると共に有効利用に取り組む。
6. 特定化学物質の消費量の削減を図る。
7. 設計の段階から環境に配慮した開発を実施する。
8. 社内の全組織で業務の効率化、無駄の排除を行い使用資源の削減に努める。
9. 環境方針達成の為、社内教育、広報活動をし、環境方針の理解と環境情報の周知を図り、環境保全に関わる意識の向上に努める。

2 取組実績

- | |
|---------------------------------|
| ① 省エネ委員会を開催(回/3ヶ月)し、全社的に施策を展開。 |
| ② 110W蛍光灯をLED蛍光灯(43W)に交換(55本/年) |
| ③ 切粉搬送立上りコンベアのインバーター化 |
| ④ 400W水銀灯を50WLEDに変更(21台/年) |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社オオガネホーム | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 大金泉 | | |
| 190534 | 所在地 | 沼田市 鍛冶町947 | | |
| | 事業内容 | 住宅建築 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 1,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 6 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し次の方針に則し、社員一人一人が自覚をもって、事業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を実践する。

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減できる事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2.すべての社員が環境問題に対する理解を深め行動できるよう、環境教育の充実に努める。
- 3.温室効果ガスの排出量の少ない建築方法・住宅の建築に努める。

2 取組実績

- ① 窓からの明かりをとり、照明を最小限にした。
- ② 空調の温度(エアコン、FFヒーター)を適正なものとした。
- ③ 空調使用時には扇風機を使用した。
- ④ 残業をへらした。
- ⑤

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 日本包装システム株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役社長 池畠正英 | | |
| 190535 | 所在地 | 前橋市 上大島町182 | | |
| | 事業内容 | 紙製容器・包装の製造・加工および営業活動 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 6,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 48 人 | |

1 環境基本方針

日本包装システム株式会社は、地球環境保全が世界共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動を通じ、循環型社会の実現と環境負荷の低減を推進します。

(1) 当社は事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め全員参加で継続的な改善に努めます

(2) 環境関連の法令、規制を遵守するとともに、行政・団体・地域等との協力体制を確立いたします

(3) 当社は全ての活動に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組めます

① エネルギー使用量・水資源使用量の削減

② 産業廃棄物の削減とリサイクルを目的とした分別回収

③ グリーン調達を推進

(4) 当社は文化的生活の向上と環境負荷低減の両立を目指し、安全で効率のよい生産活動を実施いたします

(5) 社会の一員として環境保全に関する啓蒙・啓発に努めます

この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します

2 取組実績

① デマンド監視装置の重点管理期間を設定してピークカットに取り組む

② 工場内各水道に節水シャワーの設置を検討

③ 製品生産時に申し送りメモを活用して製品不良率の削減

④ 蛍光灯・パソコン等、未使用時OFFの徹底

⑤ グリーン購入の積極的促進を継続

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 石坂建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 諸田光二 | | |
| 190537 | 所在地 | 昭和村 糸井2308 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 40,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 12 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化が世界的に問題であることを認識し、以下の基本方針を策定し、社員その家族共に自覚をもって、地球に優しい環境を作る為に配慮した行動を実践する。

- 1.会社及び現場事務所など、すべての社員が環境問題に対し理解を深め行動できるよう環境教育の充実に努める。
- 2.社員、その家族が一丸となり、温室効果ガスを削減できるよう体制の整備に努める。

2 取組実績

- ① 残業時間の短縮に努めました。
- ② 冷房の温度管理を徹底し、極力冷房の使用を抑制しました。
- ③ 不要紙による両面コピーを行うよう徹底しました。
- ④ 昼休みの時間は全室の消灯を徹底しました。
- ⑤ 使い捨て製品の購入を抑制しました。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 三川建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 新井邦明 | | |
| 190538 | 所在地 | 沼田市 西倉内町608-1 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 12 人 | |

1 環境基本方針

世界的に地球温暖化が叫ばれている中我社としては以下の基本方針を策定し、社員ならびにその家族と共に地球に優しい環境を作る為の行動を実施する。

- 1.社員ならびに家族が一丸となり温室効果ガス排出をストップする為の配慮に努める。
- 2.事務所ならびに作業所において、環境問題に対し理解を深める為のミーティングを行う。

2 取組実績

- ① 災害や原発問題により、社員の意識が継続して実績として現れている。
- ② 事務所内のこまめな節電を心掛ける。
- ③ 事務所作業による仕事量、残業時間が昨年より減少した。
- ④ コピー用紙の再利用や両面コピー、電子文書化などの取り組みをしている。
- ⑤ 月毎に、前年度の電気使用量と比較し、節電強化を心掛ける。

環境GS認定事業者報告書

| | | | |
|--------|-------|---|-----------|
| 認定番号 | 名称 | 勝野建設株式会社 | |
| | 代表者氏名 | 取締役社長 勝野政和 | |
| 190539 | 所在地 | 吉岡町 下野田592 | |
| | 事業内容 | 総合建設業(道路・舗装・河川・狭量・治山・砂防・土地改良等の土木工事の設計、施工) | |
| | 事業規模 | 資本金 | 45,000 千円 |
| | | 従業員数 | 24 人 |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が人類共通した問題であることを認識し、社会生活の安全確保を事業活動を通し環境に配慮した行動を実践する

- 1.温室効果ガスの排出が持続的に削減する事業活動を推進する社内体制の整備
- 2.環境汚染の防止をはかるため産業廃棄物の管理や削減に努める

2 取組実績

- ① 空調温度の適正化(冷房27~28℃、暖房20~21℃)
- ② 昼休み、休憩時間非使用場所等社員不在の消灯に努めた
- ③ コピー等用紙の再利用を図った(メモ帳等に利用)
- ④ トナー・カートリッジ等のリサイクル品を使用した
- ⑤ 社内のリサイクル体制を整備する(再利用可能な品物の分別を徹底した)

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 有限会社小島プレス製作所 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 小島宏允 | | |
| 190540 | 所在地 | 邑楽町 中野3003 | | |
| | 事業内容 | プレス加工、機械加工および組立 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 3,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止に対し、日常業務を通じ従業員1人、1人が広くCO2の排出量の削減に、積極的に取り組むことを誓います。

- 1.温室効果ガス排出の削減が継続的に可能な社内システムの整備を行います。
- 2.環境に対する理解を深めるための従業員への環境教育を行います。
- 3.温室効果ガスの排出量の少ない製品の製造法の確立・普及に努めます。

2 取組実績

| |
|---------------------|
| ① エアコンの温度管理の徹底、電源オフ |
| ② 不必要部所、非使用時の照明オフ |
| ③ 設備・機械の非使用時のオフ |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 中村土建株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 相田聡 | | |
| 190541 | 所 在 地 | 沼田市 利根町追貝917-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 総合建設業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 3,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 7 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題に目を向け、認識する事から始まり社員一人一人が強く自覚を持って環境問題に取り組む事から始めたいと考えている。

1) 全ての社員参加のもと、温室効果ガスの排出が削減でき事業活動の把握と活動を実施。

2) 職場はもとより家庭内においても全ての廃棄物の減量・リサイクル・省エネルギー、又環境汚染の予防に努める。

2 取組実績

- | |
|---|
| ① 空調管理責任者を設置する。 |
| ② 事務所に関しては暖房を基本とし、設定温度は20度目標とする。冷房に関しては自然の温度を受入れる事に努める。又、衣服や日除けにカーテン等を利用して環境に配慮した行動をとる。 |
| ③ 不要の時間帯の消灯、非使用場所の消灯等に努める。 |
| ④ 工場現場内外の駐停車車両のエンジンの掛けっぱなしや、それに伴う冷暖房の使用をなくすことの徹底 |
| ⑤ 必要最小限のコピー及び両面コピーを心がける。又、必要書類は出来得る限りファイル毎に整理してPC、CD、MD等に保存する。 |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-----------------|----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 株式会社飯塚組 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 飯塚淳一 | | |
| 190542 | 所在地 | 吉岡町 大字大久保2279-2 | | |
| | 事業内容 | 土木建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 2,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 23 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題が国際的にも人類共通の問題である事を認識し環境基本方針を掲げて社員全員が取組んで活動を推進して行きます。
1.社員全員が環境問題に積極的に取り組み推進を計る。
2.温室効果ガスが削減出来る事業の情報を集め社内対応出来る体制を計る。
3.小さな事からでも環境に配慮した事業活動を推進して行く。

2 取組実績

- ① 社内のリサイクル体制を整備する。
- ② 照明、エアコンなど昼休み休憩時等・未使用時は消灯する。
- ③ エコドライブ教育の実施と、車両別燃費管理
- ④ 排気ガス、騒音規制車両の導入。
- ⑤ 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|---------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 田代木材有限会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 田代雄介 | | |
| 190543 | 所在地 | 沼田市 榛名町4180-1 | | |
| | 事業内容 | 梱包仕組材製材 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 12,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 10 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化問題を社員一人一人が自覚し身近な問題として認識して環境に配慮した事業活動をしていく。

2 取組実績

- ① 冷暖房を適正温度に調整する。
- ② 消費電力量の少ない電球等に替える。
- ③ 休憩時間、昼休み時は消灯する。
- ④ 両面コピーを利用し、ミスコピーをしないよう心掛ける。
- ⑤ 使用済みパレットを社内利用する。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|--------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 樋口建設株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 樋口勝彦 | | |
| 190544 | 所在地 | 渋川市 北牧820-22 | | |
| | 事業内容 | 建設業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 20,500 千円 | |
| | | 従業員数 | 30 人 | |

1 環境基本方針

[基本理念]

経営理念・経営方針に基づき地域住民とのコミュニケーションを第一に心掛け、地域環境への配慮、保全へとつながる活動を展開し、地球温暖化を始めとする環境問題への取り組みを社会的責任と認識し、ひとり一人が環境に優しい会社となるために、行動指針を定め、継続的改善を図る。

[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

- 1.省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水利用量の削減に努めます。
- 2.事務用品・使用資材のグリーン購入に努めます。
- 3.環境関連の法律を遵守します。
- 4.環境に優しい工事を行い、環境配慮活動及び環境配慮工事の提案をします。
- 5.全社員に環境に関する教育・訓練を行い、環境保全の意識を高めます。
- 6.環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行います。

2 取組実績

| |
|------------------|
| ① 空調温度適正化・表示 |
| ② 照明不要時のOFFの推進 |
| ③ エアコン清掃の実施 |
| ④ 分別ルールの徹底 |
| ⑤ 節水表示(手洗い場・トイレ) |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 藤間精練株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 藤間一夫 | | |
| 190545 | 所在地 | 高崎市 飯塚町1772 | | |
| | 事業内容 | 電着塗装等 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 10,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 20 人 | |

1 環境基本方針

1. 私たちは、環境負荷の軽減に向けた生産を努め、豊かな自然環境を次世代へと継承して行きます。
2. 再生利用、減量、再使用の3Rを実践し循環型社会形成を推進いたします。
3. 人、大気、水質に優しい製造方法を探求し、環境に配慮した燃料や省エネ型設備の導入を推進し、温室効果ガス排出の削減に努めます。

2 取組実績

- ① 夜間休日におけるポンプ・モーター類をインバーターにより回転数を調節する。
- ② 機械・装置類のスイッチを必要に応じて、オン・オフするほか、夜間休日に於ける待機電力の節約
- ③ 休憩時間の消灯および作業員不在時の消灯徹底・蛍光灯の間引き
- ④ 消費電力の低いLED照明や省エネタイプの電気機器への更新
- ⑤ 省エネタイプの空調機器への更新および緑のカーテン実施

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|---------|--------------|----------|--|
| 認定番号 | 名 称 | 株式会社関東興運 | | |
| | 代表者氏名 | 鈴木正 | | |
| 190547 | 所 在 地 | 前橋市 西善町777-1 | | |
| | 事 業 内 容 | 一般貨物運送業 | | |
| | 事 業 規 模 | 資 本 金 | 7,000 千円 | |
| | | 従 業 員 数 | 25 人 | |

1 環境基本方針

環境方針を2008年1月に制定し、重点目標に排出ガス削減に向けた取り組み、燃費管理、エコドライブの推進、廃棄物の適正処理等を全社員に教育指導し推進と維持に努める。

(環境方針)

- ①環境保護条例 自動車NOX PM改正に対応したディーゼル車排出ガス削減に向けた取り組みを着実に推進する。
- ②燃費管理を実施し、エコドライブを推進する。
- ③法令遵守し、廃棄物の適正処理を行います。
- ④各休憩所、乗務員詰所に本方針を掲示し全社員に教育指導をし周知徹底をし、その推進と維持に努める。

2 取組実績

- | |
|---|
| ① エコドライブ乗務員研修会を毎月定期的に行い、燃費効率を追求し乗務員の意識高揚を図る |
| ② 燃費管理を徹底し、毎月の燃料使用と走行キロ、1L当たりの走行キロの掲示 |
| ③ デジタコグラフの導入により走行速度が明確に把握出来、60キロ以下の走行の徹底 |
| ④ |
| ⑤ |

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 上毛緑産工業株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 代表取締役 高橋範行 | | |
| 190548 | 所在地 | 吉岡町 小倉827-87 | | |
| | 事業内容 | 建設業(土・と・舗・園・水)工事業 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 15 人 | |

1 環境基本方針

地球温暖化防止活動が世界的規模で求められている中、群馬県地球温暖化対策推進計画を尊重し、次の基本方針に則し、全社員が自覚を持って、事業活動のあらゆる面において、環境負荷の少ない行動を実践する。

- 1.温室効果ガス排出の持続的削減に向けた事業活動を推進するための社内体制の整備に努める。
- 2.全員が環境問題に対する理解を深め自発的行動ができるよう、情報の収集、環境教育の充実に努める。
- 3.地域未利用資源を活用する固有のリサイクル緑化技術、製品の開発、普及に努める。

2 取組実績

- ① 電力削減)OA機器の非使用時の電源カット、休憩時間・非使用場所の消灯。
- ② 電力削減)大型空調設備の運転時間を減らし、扇風機や温熱器具など小型空調機器にて個々に対応。
- ③ OA紙削減)印刷前の確認で無駄紙の発生防止。
- ④ OA紙削減)やれ紙の裏面使用(FAX受信用紙、社内文書、メモ用紙)。
- ⑤ OA紙削減)印刷、コピーの両面、集約の推進。

環境GS認定事業者報告書

| | | | | |
|--------|-------|-------------|-----------|--|
| 認定番号 | 名称 | 東群鋼材株式会社 | | |
| | 代表者氏名 | 荒井昭雄 | | |
| 190551 | 所在地 | 玉村町 樋越429-3 | | |
| | 事業内容 | 各種鋼材の販売・加工 | | |
| | 事業規模 | 資本金 | 30,000 千円 | |
| | | 従業員数 | 29 人 | |

1 環境基本方針

全社をあげて、総合的な「環境経営」を目標に掲げ、日頃の営業活動から製品の輸送・加工・リサイクル・廃棄に至るすべての段階にわたって、環境負荷低減に向けた経営を目指しております。

2 取組実績

- ① 低燃費運転運動、アイドリングストップ運動。
- ② 空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)に努める。
- ③ 昼休みの消灯、非使用場所の消灯を徹底。
- ④ クールビズの推進(ポロシャツなどユニフォーム作成)
- ⑤ 加工機械の自社メンテナンス力強化